

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-17))」

2. 日時: 令和5年2月9日(木) 9時30分~10時20分
13時30分~16時20分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社

松本 執行役員 技術本部副本部長(土木建築) 他17名

東京電力ホールディングス株式会社

サイクル技術グループ グループマネージャー 他1名

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー 他1名

北海道電力株式会社

プルサーマル推進グループ グループリーダー

東電設計株式会社

土木本部 耐震技術部 担当職

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 令和5年2月6日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年2月7日
「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年2月9日
「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	ました。それでは、
0:00:03	原燃株式会社のヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリング審査会合資料、本日できたものを使って、
0:00:10	資料をもとにヒアリングを行うものになります。まず規制庁側の出席者 ですが、本庁側からセトガワ、
0:00:18	話、ウェブからは、コサク、
0:00:22	カミデタケダタジリを、ガシミズキシノ a フジワラハバサキになりま す。
0:00:31	それでは日本原燃から、出席者の紹介で議題の構成の確認、説明範囲、 達成目標等を説明してください。よろしくお願いします。
0:00:41	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:45	原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:49	本日の案件ごとに会合資料関係でサトウ内の
0:00:56	設備分類関係で、エビナタナカ、設備構造関係、イシハラシミズ
0:01:04	火災溢水関係で、シノザキ志田事務局より、タカハシセガワフジノナカ ハマい所。
0:01:14	それと、土岐。

0:01:20	と、
0:01:21	機器耐震関係で、保守のサガワククチ
0:01:26	以上が参加者となります。
0:01:29	それでは、会合資料関係から始めさせていただきたいと思います。
0:01:35	すいません、長田です。
0:01:37	ちょっとだけ確認なんですけど、最後耐震関係を言い忘れそうになったのって、どういう状況なんですか。
0:01:46	事務局ナカハマです申し訳ございません。私が一方参加者リストの
0:01:51	並びをちょっと読む順番を変えたおかげでちょっと耐震関係、後回しにしてしまって、
0:01:59	忘れそうになってしまいました。申し訳ございませんでした。
0:02:02	いや、コサクです。わかりました目の前にいるのに何で言えないのかなとちょっと思ったんですけどそういうこと。
0:02:08	わかりました。1点、ちょっと訂正というか、言っておくと、最初に、
0:02:16	セトガワの方から、介護資料でと言いましたけど、介護資料はまだ作業中であってその作業状況を聞くという意味。

0:02:27	で、日その内容のヒアリングというわけではないということは、一応申し添えておきます。原燃は十分理解してるとは思うんですけど文字起こしなんで一応訂正をして、
0:02:39	では、よろしくお願いします
0:02:43	はい。乳井石田でございますは、昨日はすいません体調不良で申し訳ありませんでした。介護資料すいません何度も出し直してどれが最新化つてのは非常に難しくなってしまうんですが、9時過ぎに、
0:02:57	出したものが今現状最新でございます。それもまだ、修正をとるかまだ方向性が間違ってるものもありますので、どういう状況かというのをご説明をさせていただきたいと思います。
0:03:10	まず前提として今回は、1月にご説明した審査会合資料のカウントの総数の話であったり、あと条文ごとのシート、これについては数字は精査をした数字を書きますがそれ以外のものについて基本いじらないことを前提に、
0:03:29	そこをベースにした進捗したものを、アウトプットとして追加をして添付をしながらご説明をしたいというのが、もともとやりたいということの趣旨でございます。

0:03:41	はい。一応まず A 右下 4 ページにからが数全体のカウントの話。これ前回、何でこれができなかったのかと、なぜ精査中になったのかというのと、なぜそれがうまく回るようになったのか。
0:03:58	結果として今回示すことができることになったのはなぜかと、いうことのお話とその考え方を説明すると、ここがまだばくっとしか考え方書いてないですので、昨日のやりとりも踏まえた上で、
0:04:14	うちの方で見て、ここはブラッシュアップが必要だと思ってます。5 ページが集計の話これ黒字に全部なってますが申請対象設備の方はちゃんとカウントしたものを示しをするということ。
0:04:27	あと 5 ページと 6 ページのつなぎのところで主要な条文ごとの設備の詳細を次ページ以降に示すと、単純に書いてますがここも多分言葉足らずでして、条文ごとに説明をするとしたこと。
0:04:40	あとは条文での設計の何を説明するのかというのと設備の紐づけをするという趣旨で、このページ以降、条文ごとにシートを作り条文ごとの A から B 側から B 4 までの、
0:04:53	設備数のリンクを図っていきますよということの多分前置きを書いた上で、6 ページ以降に進んでいくと、ということかと思ってます。

0:05:01	そういったことも、すいませんまだできてませんのでそういう形で修正をしていきたいと思っているところです。6 ページ以降ですがこれは先ほど申し上げた通り、1 月の審査会合の記載をいじらないということからすると 6 ページの主要な説明内容のところもすでにいじってますので、
0:05:18	ここは元に戻した上でやりたかったのは、例えば 8 ページでいうと、その前に書いてある説明内容であったり条文とのひもづけをした上で、現状説明。
0:05:30	することが何かと、いうことの詳細をお示しをするという流れで紐付けをさせていただきたいと思います。
0:05:39	今 2 番が八、九に入力地震動関係の話が入ってます。
0:05:45	はい。す。他の条文ですが、正直すいません身の丈にあったという方でいくとほとんど進んでないという状況ですので、現状、お示しをする、
0:05:56	ことができる範囲で、ただやりたいのは今後どういうふうはこの進捗を示していくかというやり方ですねそういったことを、今回の審査会合では例示を使いながら説明をさせていただくという意味で、

0:06:10	10 ページが竜巻、竜巻 11 ページの構造説明の話をしさせていただいて るところもありますので、それとリンクをとって、10 ページ 1 月に言っ たこと、それから何が、
0:06:22	今回説明できるのかということの紐付けをさせていただくということ で、竜巻を今回シートとして付けて 11 ページのリンクを図っていく と、これも
0:06:32	10 と 11 だねリンクがうまく入ってないところありますのでそこは紐付 けた上で、どこを説明してるつもりなのかと、いうことが、
0:06:41	衛生対象設備イチポツだったりの数字であったり説明内容とのリンクと いうのを図らせていただこうと思ってます。
0:06:49	あとは DB と 鶴飼田浦 と SA という意味で 12 ページのシートをつけて いるということでございます。
0:06:56	こちら後ろの方の説明内容とか直しちゃってますのでここも元に戻し つつ、何をという、今説明しできる内容を、
0:07:07	次のページに立つというイメージで考えております。
0:07:12	はい。あと 13 ページが、す。
0:07:16	これも今後の進め方ということで非常にプアなのは十分承知ございま すが引き続きやっていきますよということと、1 月に次回説明と数字と

	<p>した、主要な条文以外の条文の進め方、今回示すことができませんので、</p>
0:07:33	<p>非喫煙者の宿題だと認識をしてますというようなことをお話をさせていただくという形で今、審査会合資料を整えようと思っていたところでした。以上です。</p>
0:08:00	<p>日本原燃車です。はい。です。</p>
0:08:02	<p>古作です。聞こえてますよ。</p>
0:08:05	<p>セトガワさんとか、誰が仕切るですか。</p>
0:08:11	<p>元規制庁側の質問ある方ございましたら、よろしくお願ひしま</p>
0:08:18	<p>成長のタジリですと、</p>
0:08:22	<p>昨日まで示された方から項目を絞ってということで要は終わってないもの載せても意味がないから削っていかれたのかなというふうに認識はしていて、</p>
0:08:31	<p>一応、前まで載ってたやつの認識の確認なんですけど、前回まで火山とか外部火災持ってる形にはなってたんですけど、結局今設備構造の話のところ、竜巻に関連づけての説明しか受けてない形になっていて、勝火山と、</p>
0:08:47	<p>岡さんに関しては、</p>

0:08:48	今、表に載っとりながら説明していこうとするとき、
0:08:53	火山として、要は二重丸がつくものとして保護対策をするものとかって いうのが多分あんまない形になってるので、今回の時点で示しても説明 項目がなくてかつ、次回以降のタイミングからでも十分竜巻と並びをと って説明していけるぐらいのものだからまずは竜巻でパイロットケース を説明しようとしてるところですかね。
0:09:13	はい宮城西田でございます。はい。おっしゃっていただいて説明項目と いう意味であったり竜巻一番多いのかなというのも
0:09:23	第1回のボックスであったり、第1回の最終意思申請の中身と書くので すね追加分ってのはそ、そういう意味では竜巻がメインになるのでまず は竜巻でということで、
0:09:35	ケースとして書かさせていただいたということでございます。木部で す。
0:09:40	規制庁谷です。なので今回の開口は設備の分類の考え方をちゃんと整理 して精査してるんですよっていう話と、あとは今後会合を進めていく上 では
0:09:51	前回か前々回かわかんないですけど、

0:09:54	投票が書かれたものを表としてもう1回載っけていただいているやつについて、今この部分をやってるんですよというのを全然積み上げていく形になるので、それをどうするかの説明のやり方の認識確認がメインですかね。
0:10:08	はい。日本原燃市田でございます。はい。
0:10:13	自分で大して進んでないっていうのも恥ずかしい話なんですけどそういう形に今回はなろうかと思えます今後の我々の進捗なりを示していく時の形であったり、示し方ということの大枠を、
0:10:28	確認をさせていただくということかなと思ってました。
0:10:33	規制庁鳥井です。その上で前までのって内部事象の絡みでいうと、一斉はちょっと後でも話すんですけど、
0:10:42	ヒアリングとか状況聞いてる限りだと、全然ものができてないんじゃないかっていう気がしているので、多分全然進んでませんよっていうのでここに載せるには問題外の状況になっていて、
0:10:53	火災に関しては載せれなくもない気はするんですけど、あれに関しては一斉とセットでやってくっちゃう話と、あれ単体でやっても結局感知消火とかの話ぐらいしか、設備として新しく出てくるようなものがないので、

0:11:06	先ほど話したようにパイロットケースとして竜巻災害、今回はやれば、火災についてあえて今回説明しても仕方がないということですかね。
0:11:15	はい。宇井石田でございます。はい。火災溢水についてはまず認識、おっしゃっていた通りです。もともとの前提であったりということ、区画の説明を以前させていただきましたがそれも、
0:11:30	変えないといけない状況になるということも踏まえると、まだ入口の整理ができてないという認識でございますので、一声を今上げるにはとてもじゃないけど、いう状況と認識してます。火災についてはおっしゃっていた通り新規の設備って言っても結局は、
0:11:46	感知設備、多様化する感知であったり床下の消火設備であったり、電力さんでも実績もあたりあまり、ここで医師、
0:11:57	大体大々的ってかこの時点で特にやるというよりは、S Eと横並びをとりながら足並みそろえてやっていきますよということの中軸に置いて、今回溢水を外したのと一緒のように、
0:12:08	浅井も外させていただいたということでございます。以上です。

0:12:13	はい。規制庁田尻です。項目についてお前須田本体は許可以降と思ったんですけど聞いた部分が多かったんで先にそこを確認してしまいました がえと。
0:12:24	なんか金市立されてるもの絡みで他の方他の班の方って何かあれば、さ つきお願いします。
0:12:33	でしょうか。高梨です。実施されているものか。
0:12:39	ちょっと抽出されてるのかどうかわかんないですが12ページ重大事故 関係のところなんです、先ほどの話ですと、説明については説明内容 については見直してという話だったんですが、
0:12:53	ちょっと一応念のため今書かれてる古藤でいいますと相関関係のところ が書かれていると、ごめんなさい、1ポツ2階のところですね、設計条 件とその評価基準のみ明確なところでは、
0:13:05	せ早晚関係の話が書かれてると思うんですけども、この相関の整理っ てのは確かにその作業として大事なところではあるかと思うんですけれ ども、
0:13:15	その設計条件とか評価評価基準というところの話と少しずれてるような イメージがあるんですが、具体的に今今回の説明としてはどういう朝の

	作業状況のことですがどういうことをちょっとイメージされてるのかっていうのを、お考えがあれば
0:13:30	ご説明ください。
0:13:33	はい。日本原燃石原でございます。最初の12ページの1ポツ設計状況の評価判断基準のところ、何を具体的に説明をするつもりで、
0:13:44	今やってることが、この1ポツに該当するのかというご質問だと思います。設計基準、設計条件だったり評価判断基準っていうのは、もともとは
0:13:57	許可で何を約束したのかということと、それを設工認として00資料でいう別紙1だったり別所にどう展開していくのかと、いうことの紐づけをしてご説明をする範囲だと思ってました。
0:14:11	そういう意味で、まさしくその相関関係を整理しないとですね、その条文での、添付資料対基本設計方針との紐づけであったり、添付書類の何を書くかという、キャッチボールですねそういったことを、
0:14:26	舞台上に展開できないということを思ってたので、この1ポツに紐づけて相関図の話をさせていただいてました。以上です。
0:14:36	はい。規制庁の河内です。記載の意図は、今のご説明で理解いたしましたが、一方で実際何だ、この

0:14:46	どこに期待するかというところ具体の展開の前にこういう制度がないというところはあるつつですね実際に具体の展開のところの進み具合みたいなところの話ってのは今回は特にないということなんでしょうか。
0:14:57	要はまだここまで中込さんどうぞ。
0:15:02	はい、宮城石原でございます。まさしく相関を整理しつつ、00 資料のご説明をして、具体的な進捗を図っていくと。
0:15:12	ということだと思っておりますが本文 8 号だったり現場処理 8 をどう、別紙 1 なり添付書類が組み込んでいくかと、ということが正しく今日ですかね、の後のヒアリングのアイテムになってますかそういったもの。
0:15:28	進捗なり、に応じて、ここに書けるものが決まってくるのかなと。
0:15:34	大分後手後手になってますがそんなふうにイメージしてました。以上です。
0:15:40	はい規制庁の河瀬それでは今日のヒアリングが午後過去のヒアリングを踏まえてということで、またその結果で確認したいと思います。
0:15:49	以上です。すみません、小コサクですけど。
0:15:52	今言われたのって、会合でやるような話なんですかね。
0:15:59	はい。宮城西田でございます。ベースでやることですので、何か設計として具体的ん何か説明して新世界法でやることかということ

0:16:13	会合でやる前の前の段階ぐらいの話をしているという認識もあります。
0:16:19	はい。そうだと思うし、まだ申請に至る作業になってません。今から準備しますって、会合で言われても、
0:16:30	いやこれ審査会合なんですけどっていう感じにしかならんので、
0:16:34	あまり意味がないかなと思ってます。で、先ほど田尻からもありましたけど、前回会合で説明方針を示されていて、
0:16:45	それに則ってやっていくというときに、前回会合でそんな説明するって言ってましたっけっていう。
0:16:51	ところもあってですね、よくわからないと。
0:16:54	で、順番に、その設備を明確にし
0:17:00	分類をし、その分類に応じて説明をしていく。その内容も、1ポツ2ー一、二ー2ということで、段階を踏んでやっていくと。
0:17:11	いう中で、
0:17:14	基本設計方針を説明するっていう意味であれば1ポツに該当するのはそれはそうなんですけど、といっても素行が、そこをメインに説明すると 言ってたわけではなくてあくまで順番にやるという、
0:17:27	ところの中で押さえておくということなだけなので、そこが論点なわけ じゃないですから

0:17:36	幹事のやるといったことがない中でやる必要はないというふうに思います。
0:17:41	で、
0:17:45	項目ということじゃないんですけど全体の流れとしてですねよくわかんなかったのが、条文淡々とそれぞれ説明していきますということではなくて、
0:17:56	まず入力地震動というのをしっかりと押さえたいと。
0:18:01	ということと、それ、この表、耐震評価に関連する主要条文をまず先行してやりたいと。
0:18:11	いう大きく2本立てだったはずなんですけど、
0:18:15	この資料の構成だとその二本立てにはなってなくて、
0:18:18	しかも、3ページだと、重要度ごとに分類した結果って意味がわかんないことが書いてあったり、
0:18:27	耐震がどうこうとあまりない中、個別条文のお話になっちゃったりと、このページ、全くもってよくわかんないんですけど、どうなってます。
0:18:38	はい。日本2社でございますはい。おっしゃっていただいております。

0:18:44	前回の会合でお約束したことを、まず基軸に置いた上で、このページで何を説明してるのかっていうのを明確にしないといけないというのは認識がございます。
0:18:54	そういう意味で前回の会合の5ページでしたかね、まず、耐震の話これはすべてのベースになるので耐震の話、その中でも特に入力地震の策定を、
0:19:06	優先的にやらせていただきます。加えて耐震に、設計の方に、後、リンクをするような、各条文での設備の構造であったりと、
0:19:18	いうことの説明も、並行してやらし優先的にやりますよといったことの、まず基軸を立てた上で、まず優先的に最初にやるといった耐震関係においての入力地震動の話が、
0:19:32	6ページからの話ですと、その間にまたさらに今ご説明した耐震に関係する主要条文こういったことを説明しますといったものの関係が、10ページ以降の話ですというのがそれぞれリンクがわかるように、前回の審査会合の資料のページを使いながらご説明をさせていただくようにしたいと思います。

0:19:55	はい、高坂ですよろしくお願いしますそれで耐震評価に繋がるための主要な条文の説明ということについても、先ほど田尻が確認したようなことの趣旨を、
0:20:09	述べた上で対応いただけるといいかな。
0:20:12	ます。
0:20:25	現に聞こえました。
0:20:27	はい、すいません柳下ですはい。聞こえましたはい。承知いたしました。
0:20:37	では規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか
0:20:42	規制庁の田尻です。冒頭に聞けばよかったんですけどここにも介護の治療のヒアリングがある気がするんですけど午前中の項目って他に何かあるんですけど。なんか午前中の方が時間限られてる部分がある気がしたんですけど。
0:20:57	はい。常銀の石田でございます。午前中の朝のやつはこれ以外は、
0:21:06	溢水の状況の話はもう、やるとしても後は、設備数のカウントの話。すいません昨日私が体調不良だった件もあってまだ、

0:21:16	私が資料見れてないので進んでないのでただカウントは各課から上がってきたという状況の報告後はそれを再度チェックして、間違っているところを修正をしていきますということで、
0:21:29	状況を説明しようと思ってたということ、あとは耐震関係で修正方針の話前回の月曜日、火曜日か、火曜日にやらせていただいたやりとりをした時にこういうところを修正しますといったもの。
0:21:44	お話をさせていただこうというのがあったということです。はい。
0:21:51	すいませんコサクです。ちょっと私が十時から離れなきゃいけないので、
0:21:55	そういう今の大枠というよりは、ちょっと根本勘違いしないかっていうことで、
0:22:02	11 ページですかね。
0:22:06	10 ページ 11 ページってということなんですけど、0 ってなあにっていうことと、1 ポツが 2-1、何っていうことで、
0:22:16	10 ページでは 2-1 説明しますと言っているのにその次のページは 2-1 ではない。
0:22:22	ということなんですけど設備構造の構造っていうのは、ニノイチそのものであって、

0:22:29	2-1の説明になってるという意識をしないまま、無理くりゼロですとい うふうに、
0:22:36	ごまかして対応してるとしか思えないんです。
0:22:39	D0はあくまで登場人物の分類をしてこの部分の枠のものであるとい うだけであって、
0:22:47	それはここで説明することじゃないと。
0:22:50	思ってます。
0:22:52	その点、認識大丈夫ですか。
0:22:56	はい。日本イシハラでございます。はい。認識がしておりますというの が資料そうになってないという話は認識をしています。はい。
0:23:07	文明はあくまで分類の話、構造の説明を今、構造物を使って来てるは2 -1に踏み込んでいるということを認識しております。はい。そうな ってないところは、
0:23:20	資料の是正をさせていただきます以上です。はい。お願いします。古作 です。で、さらに1ポツなあにっていうことになるんですけど、
0:23:31	表になってる中2、基本設計方針が書いてありますその要求事項を明 確にしてってますと、言われたいんでしょうけど、

0:23:41	審査会合でこんな読めない図をつけて説明してますなんて言われても、甚だ迷惑。
0:23:47	なんです。
0:23:49	なので、そもそも1ポツの説明って何が会合で必要だと思ってんですかと。
0:23:56	いうことを整理をしていただいて必要なことを言っていただくと。
0:24:00	いうことだと思います。五つ竜巻についてはもう第1回でやっているんだから、追加で説明する事項があるのかないのかっていうことを言っていただければいいし、
0:24:10	一方でその構造に違いがあるというのはなぜかという、冷却の関係での配慮事項が必要になっているとか、そういうところで、
0:24:21	第1回で説明していない部分というのがあるから、その差分についての、1ポツの関係というのを説明いただくということが必要だと思ってます。よろしくお願いします。
0:24:32	はい。日本イシハラでございますはい。ありがとうございますはいそういったことを認識して、資料にちゃんと書き落とすということをさせていただきます。はい。
0:24:47	規制庁の館です。今まで認識されたと思うんですけど

0:24:52	<p>前回会合までもずっとと言っていつてるんですけど今回上流から全部見えますよという話になっていて、竜巻に関しては急にぽんと一気に行ってるわけではなくてその前段部分に関しては、第1回申請とか、これまでに説明を受けてる内容と同じ方針でも</p>
0:25:07	<p>前回説明してるものがあるのでそこを使いながらいけるんでっていう前提があってだと思ってるので、すっ飛ばしていきなり2だけ書かれると意味がわからなくなるのでその点も認識した上で資料をまとめていただければと思います。</p>
0:25:20	<p>はい弓削石田でございますはい、承知いたしました。</p>
0:25:40	<p>は原子力規制庁側から質問等ございますでしょうか。</p>
0:25:51	<p>よろしければ、高畑高梨です。よろしければちょっと少し細かい話になってしまっていてもした後のヒアリングで聞いた方がいいかもしれないんですけども、ちょっと一つ、</p>
0:26:01	<p>確認をいたします。</p>
0:26:06	<p>S A 管理もしくは私昨日少し聞き漏らしたかもしれないんですけども、S A 関係のところ、今回は伊勢加来に限らず申請対象設備の時数を入れて御説明ということだ。</p>

0:26:17	ではあるんですけども、その背景にあるその設備概要とかその整理のところについて性関係については、今後どの具体的な説明とかそういったところのスケジュール感というか、整備状況といったのが今どんなようになってるのかっていうのを、
0:26:32	はお聞かせいただけますでしょうか。
0:26:44	はい、日本原電の瀬川です。
0:26:46	清野設備説明についてはですね十時 18 という補足説明資料を使って、全体網羅して説明しようと、資料を整理進めているところでございます。一方で今、
0:27:00	共通 12 ということで、導入の部分ですね他条文との関係性もきちんと整理した上での構造説明という、そういった新たな資料もできてきていて、
0:27:10	ちょっと情報をどうすみ分けていくかといったところを、今ちょっと整理しているところでした。
0:27:16	衛藤で、
0:27:18	高橋さんの補ご質問の、
0:27:21	いつまでに何がといったところですけどもちょっとすいません今精査をしてるところですってちょっと

0:27:28	歯切れの悪い回答になりますが、そんな遠くないうちにちょっと整理した上で18という資料ですね、構造説明に特化した資料を提出したいとは考えてございます。以上です。
0:27:40	はい、高橋です。それでは整理していただいてそれをまた説明してくださいということでお願いします。
0:27:47	以上です。
0:27:50	その他規制庁側から質問ございますでしょうか。
0:27:59	ないんでしたら、
0:28:00	大林。
0:28:01	以上としたいと思います。
0:28:03	日本原燃からの出生の方針等ございましたら、
0:28:08	質問お願いします。
0:28:12	以前方針と、
0:28:13	スケジュール、
0:28:15	お願いいたします。
0:28:18	規制庁館です。今日の午後にヒアリングがあると思うので、その時点までにどこまで示せそうか、説明ください。

0:28:30	ここまで行って、はい。根井石原でございます。はい。
0:28:35	前回の審査会合で説明するといったことの、との関係であったり、それぞれ、6 ページ以降、
0:28:45	10 ページ以降ですね、その関係というのを整理をしてお示しをするということを見せていただくということかと思いますあと 3 ページの記載も修正をして高野ヒアリングまでに、
0:29:02	します。
0:29:03	はい。
0:29:06	あとは先ほど 11 ページであった 0 ってよくわかんないんじゃないかなー番でも推移をするということ、あと基本設計方針の説明というのがどういうものなのかと、いうことの認識も含めて修正をしたものですね。
0:29:22	ヒアリングまでに、私を、
0:29:26	します。はい。
0:29:30	ありがとうございます。
0:29:31	それでは規制庁側から連絡事項ございますでしょうか。
0:29:37	よろしければ本日のヒアリングを終了しようと思います。大丈夫。ちょっと待ってください。ここの項目が終わっただけだと認識してるんですけど、ちょっと退出する人がいたっていうのもあって 30 分で、

0:29:50	だったところやったんですけど、その他の部分ところっていうのは、現在は借金以上の説明何もないということでもいいんですけど。
0:29:58	保険者でございます。R T Mをそれぞれどうやっていくかですけど
0:30:08	一斉の話をちょっと一番最後に回させていただいて、
0:30:12	数のカウント等やっている件については、昨日の時点で各課から集計されていると聞いてますその時点で、
0:30:22	集計を発注した側として、チェックをして明らかに間違っているところ というのの抽出も終わっていますので、それを書くかと、
0:30:33	対面でというか話をしながら是正をしていくという作業を今日やらせて いただくということで
0:30:42	今日の時点では、集計結果も含めて資料が整うと思いますので、それ を、今日の夕方、夜になる、ならない程度の夕方に提出をさせていただきます。
0:30:54	その時に、紙ベース設備の分類の話の資料の、私なかったんですけど、昨 日いただいた、具体的な対象ばかりいっぱい増えていって、と考え方が 変わってないというところの修正もした上で、
0:31:10	お話をさせていただきたいと思ってますというのが、設備の分類、言い なり集計の話になります。

0:31:19	規制庁の田尻です設備の分類の花C O、
0:31:23	一応確認しておきたいんですけど、竜巻と耐震に関しては、開放までに数字が決まってると思って大丈夫ですか。はい。日本の石田でございますはい。これはすべての条文に対してカウント決めますので、竜巻と耐震についても決めた数字が書けるようになります。はい。
0:31:41	規制庁館です。いやなんで、その他の条文に関してはそこまでとり着くか良くはカーンなんのD、現時点でどこまでってもらってないんですけど、会合資料にかかる以上確定してなきゃいけないとっていて、
0:31:53	そういった意味でいうと4ページか何かのところろう5ページか、5ページぐらい、設備の申請対象設備の数書いてるところあったと思うんですけど、ここってどうしようとしてるんでしたっけ薬取れちゃうんでしたっけそれとも。
0:32:06	後ろに並べたやつ以外はまだ、精査途中なんでまだ書き切れませんっていう形にするんでしたっけ、それによって、その他のやつがもう会合までに全部しっかり確認しなければいけないかとかがいろいろ決まる気がするんですけど。
0:32:19	はい西浦でございます。ですね。

0:32:25	わしっていうそうですねおっしゃって、それ以外の条文についての説明を、
0:32:32	のやり方の方針を示せていないのにじゃあ他の条文もカウントし全部足し合わせで書くのかっていうところには、確かにおっしゃる通り、全体の進捗という意味では、若干の違和感があります。
0:32:44	ただ、ちょっとそこはすみません方針を決めた上で、後ご説明するようになります。
0:32:51	このペイジーを載せる以上は何らか、
0:32:55	最新の情報を反映したいという思いもありますし、とは後とのリンクがとれてないよねっていうところも認識をしておりますので、立ち位置を明確にして、ご説明させていただきます。以上です。
0:33:10	はい。規制庁の館です。
0:33:13	今回対象絞られたのもう中途半端な情報に乗っけて後でまた変わるとかいうのを避けるための意味も持っていると思っていてちゃんとでき上がったものがやりましようねって意味合いがあると思っていて、この数のところ、もう、
0:33:27	要はその他の条文今のページで全部見切れる気もしてない中で、数正確なんですかって議論するのも微妙な気がするので、それなれば、今の状

	<p>況を説明してもらおうとかも一つの手段な気はするんですけど作業のスケジュールとあわせて今日の午後のヒアリングのタイミングで説明いただければと思うんでよろしくをお願いします。</p>
0:33:47	<p>はい。乳井石田でございますはい。集中いたしました。この</p>
0:33:52	<p>4 ページに書いた通り設計で何を説明するかっていうと設備とのリンクになりますので、数だけが独り歩きするわけじゃないと思ってますので、そこを含めて、ほぼ説明できるようにさせていただきます。以上です。</p>
0:34:09	<p>その他、規制庁側から質問ございますでしょうか。</p>
0:34:14	<p>カミデですけど、何か耐震はちゃんとした数字が入りますと言っているような気がするんですけどいつ数字入りますか。</p>
0:34:25	<p>はい。はい与儀西原でございます。その採用方が集計したものを再度私どもの方で見てということになりますけど、</p>
0:34:35	<p>金曜日の時点では、集計が、</p>
0:34:40	<p>今日の時点かは、今日の時点では今日の何時になるかあれですけども集計したものの数字、チェックをしたものを、ここに仮書いてお示しをすると、いうことができると思ってます。</p>

0:34:54	はい、上手です。午後のヒアリングの前には間に合わなくて、そのあとまた別のタイミングでって感じですか。
0:35:03	はい。日本原燃石田でございます。はい。そこは、ご指摘ございませんがそういうタイミングで、ずれが生じます午後までにはちょっと間に合わないかなと思います。
0:35:13	1回目ですわかりました。その数見て、そうだねって思うかもしれないし、何だこれって思うかもしれないと。そうなった場合はヒアリングをまたしなきゃいけないんですけどそれを、
0:35:27	この浅野谷津でやるってということでもないと思うんですけど。
0:35:32	その辺何か計画ありますか。
0:35:36	はい。事務下西原でございます。はい。先ほど田崎さんからあった今回の審査会合でどの数字をかけるかっていうのも、決めた上で、とはいえその数字の根拠なりの説明も、
0:35:48	しないといけないと思いますので、
0:35:53	審査会合の資料でやるってことでもないと思うので、ちょっとヒアリングの設定をさせていただくことで、ちょっと事務局さんと調整しましょうかね。はい。

0:36:07	はい。カミデです。そうですね。もうもうちょっと後の時にはもうちょっと具体的にお話できればと思いますので考えて、
0:36:17	以上。
0:36:20	その他、規制庁側から質問ある方ございますでしょうか。
0:36:36	ないようでしたら次の説明に下に書いていただければなど。
0:36:44	はい。二本木の石原でございます。はい。では、耐震の
0:36:52	計算書の修正方針前回宿題になってたところのご説明をさせていただければと思います。説明は星野からさせます。
0:37:03	すいません、上出です。
0:37:06	資料は見ていて、大体こんな感じで、この間の話を踏まえた形で出てきてると思うので、まずはこういうフォーマットで、別紙4の方で、
0:37:22	チェックしたものを再度出してもらってことでいいかなと思ってますが、それを踏まえてまた何か悩み事項だったり説明したいことがあれば、
0:37:37	はい。日本原燃星野です。現時点ではまだ出てませんので、もし発生したとき別途ご相談させていただきたいと思います。以上です。
0:37:49	はい。わかりました。あとはスケジュール感ですかねどれぐらいをターゲットに、進めていく感じですか。

0:38:00	はい。本件のホシノベース。
0:38:04	明日ですね社内の展開を行いまして、修正対応に入っていくんですが、
0:38:11	そう。
0:38:13	3月上旬から中旬くらいにかけてお出しできればなと今考えてます。以上です。
0:38:22	はい、規制庁カミデスワップありました。あとは、
0:38:28	あれですよ。耐震、56、56条対応だけじゃなくて、伊勢から飛んでくるもの、浅井から飛んでくるものを含めて意識修正に係る
0:38:42	日本原燃細野です。はい。ご認識の通りです。以上です。
0:38:50	はい。わかりました。
0:38:53	あれかな。一応、前回の会合で、
0:38:57	NGのまんま結果出てますねっていうのがあって、
0:39:03	こちらとしては、それが詳細評価の漏れなのか、本当に駄目なのかっていうのはあれなんですけど、再評価しなきゃいけないとか、
0:39:16	ものって今出てます。
0:39:21	例年ホシノです。再評価に至るものは確認の結果ございませんでした。 詳細局評価の結果を書き損ねたものと、

0:39:31	あと単純に記載を誤記で、入ってしまったものでしたので、掲載評価には現状至っておりません。以上です。
0:39:40	はい。規制庁亀井です。わかりました。
0:39:44	はい。
0:39:45	この件はこれぐらいでいいかなと思いますが、他、規制庁が何かあれば、
0:39:54	はい、じゃあ特になければ、次に進めてください。
0:40:00	はい日本西浦でございます。あと、今日の朝の実験でお話をしなきゃいけないと思ってるのは溢水を件でございます。
0:40:09	昨日の時点で水葛西を並行してと言いながら、水は一体どこの立ち位置に今いるんだというのが、非常に我々の説明が曖昧なまま進んでしまいました。
0:40:21	当然、火曜日ですかね私、月曜日からちょっと今日出てしまって恐縮ですけど溢水について、
0:40:33	追加が必要になるといったような項目もありますという状況の説明をさしていただきました。結果、結果的にですねまだ全部が、その修正が必要かどうかの情報が集まりきってないという非常に

0:40:47	まだ進みきってない状態の、今ステータスになります先日お話しした通り、排風機が防護対象、かつ評価対象だといったときに、
0:40:59	はS排風機であったり排風機に関係するバーンだけをもともと見て、機能喪失高さを設定し評価をするということに対してそれ以外にも排風機の機能喪失をさせるようなキーになるものがあるんじゃないかと。
0:41:14	ということで調べてた。
0:41:18	後、機能喪失高さを設定しないといけないものが、配布木山以外にもあるのではないかとこのところに行き着いています。
0:41:27	そういったような機能喪失に至る可能性のあるものを、その層自体ではなくてそれに関連するものとしてピックアップをしていくという作業を、
0:41:37	今やっています。それが全部出せよと一体どんなことになるかといいますと、防護区域が増えるという結論に多分なると思います。防護区域が増えれば、今度は評価との関係で、
0:41:51	対策設備をふやさないといけないのかどうかといったことにも繋がると思いますので、一斉にしてみれば以前火災と比較をして説明した防護区画であったり、対策設備の配置であったりというのがまた変わってしまうと。

0:42:05	ということです。それが変わる絵姿はまだ書き切れてないというのが現状ですそういったことをやらないといけないということで、ほぼスタートから、
0:42:15	スタートしていただけない状態になっているという認識でございます。その支障整理の仕方自体は、今、防護対象というか評価対象にするものが、
0:42:27	今思ってるもの以外にあるのかどうかというのの調査2、17日ぐらいまでかかるというのが現状です。
0:42:33	さらに、対策設備が追加で必要かどうかという評価に1週間プラスかかるという状況ですので、その状況も認識した上で私はお話をさせていただかないといけないと思ってます。
0:42:48	というのが現状でございます。
0:42:51	さらに以前から言われている溢水と、従来この関係でございますが、重大事故からのインプット、先日、重大事故チームからは一斉チームに渡されてますが、
0:43:03	これまた、非常に漠としたもんでして、神経はDBの世界と、水高さを変えられたら困ると。

0:43:13	<p>いわゆるDBで言っている1制限から除外したものは全部1.2S sだと、いうこと、対策設備としても、S sにもつとといったものは意味ないって2S sを要求すると。</p>
0:43:24	<p>というのが重大事故チームの見解でございました。それ自体まだ重大事故チームからの見解であって私も含めて、それが果たしていいのかどうかの結論もまだ出してませんが一応今そういうインプットがきているので、</p>
0:43:38	<p>耐震側にもご迷惑をかけるということに今なっているという状況です。そういったもの、やらなきゃいけないことをやるための仕事のす、スケジュールっていうのを積まないといけないという状況になっていけば、</p>
0:43:51	<p>火災と溢水を同時にやるなんていうことに今言いながらも同じステージに立ててないという現状でございました。以上です。</p>
0:44:02	<p>規制庁の藤井です。端的に言うちょっと状況がひど過ぎるので、いやな、というものすごいてくれよというところが一つと。</p>
0:44:14	<p>やり直されてるやつは、急いでもできないものはできないと思うんで、ちゃんとやってくださいって言った一つと、今のSAとの関連でいうと、</p>

0:44:25	多賀伊井が勝手にあっても進まない気がするんですけどそういうの調整はどなたがされてるんでしたっけね。はい。日本原電車でございます。
0:44:36	現状ですね、正直申し上げますと、私が首を突っ込んでますって答えにしかありません。
0:44:42	ただやっぱり社会でございまして恐縮ですが、はい。それでお互いがお互いのことの主張をまず聞いた上で実際その
0:44:54	重大事故にとって必要な条件って何だっていうのをちゃんと考えて、操作をする場所だったりアクセスルートだったり実際操作をする内容であったりも含めて、何をどう守るのか、そのための条件は何だっていうことは、進めていくしかないんですけどそれをやらせていただこうと思ってました。
0:45:14	規制庁の田尻です。何でもかんでもイシハラさんがやって原燃は回ると考えてるのかっていうんですけどずっとやってきてる気がしていて、溢水とSAの責任者の方っていうのはそれぞれいた気がするんですけどその人たちは縦割りだから私たちは知りませんっていうのを今やってると思っておけばいいんですか。
0:45:30	石原さんというよりはその溢水等、SAの責任者の方に聞きたいんですけど。

0:45:38	はい。2本目のシノザキです。その他決してそんなことはなくて、重大事故。
0:45:44	の条文担当責任者と連携をとってやっていけばやっていくことです。
0:45:52	規制庁鳥居です。それがやってるところっていうのがやってるように聞こえないから何やってたのかっていうのをいちいち時間かけて聞いてるんですけど、何やってるんでしたっけ今今のお話だとS Aの方は、
0:46:04	いやもう条件変えないでよっていうふうに言って、イスイ側そんなこと言われてもって言って話も進んでないような結論だけが聞こえてきたんですけど。
0:46:13	どのような調整されてるんでしたっけ。
0:46:16	日本原燃の篠崎でございます。すいません我々からそんなことをやってくれるとかそういうことをなんかお互い
0:46:25	意見を上げてぶつけてとかそういう話は全然ございませんで、当然S A側で1.2 S s 要求が必要だといった要求事項が出れば、それは
0:46:35	以降の溢水評価の方には適切に反映していく必要があるので、
0:46:40	決してそういう対立してるわけではございません。明確にこことここが要求事項があるよといった、引き渡しを今されているところという認識でございます。

0:46:53	規制庁田尻です。S Aの条件の話をしたので、結構前の話で今更情報を引き渡してもらおうと思ってるんですけどかってやってる時点で調整してないっていう話だと思っているので、
0:47:04	今現状においてできてるんですって言われるとこれが続いてしまいそうなので、何駄目だったかもちゃんと考えてやっていただければと思います。
0:47:14	あとすいません若干いつの話長くなりそうなので規制庁側とか原燃は溢水薬品とかサイト、あとS Aの人たち以外は別にどうでもいいので、
0:47:25	下、規制庁がもう長々とかこういう話してしまいそうなので他の業務ある方おられたら退席していただいて構わないのでよろしくお願いします。
0:47:34	衛藤、今のS A等、溢水のそのやりとりの話ってのは切りが結局つきそうなんです。うなりました。
0:47:48	はい。常勤者ないですか。私が答えちゃいかんですよね今日話をして今日宿題があれば、明日持ち寄ってということで今日明日には決着を条件として何を設定しないとイケないのか。
0:48:03	なぜそうなのかっていう考え方も含めて整理をさせます。はい。
0:48:10	規制庁田尻です。先ほどのお話だとS AにおいてもD Bの溢水条件と変わらないようにというような話があったと思うんですけど、例えばプー

	<p>ルのスロッシングとかっていうのはどうしたのかとか、これ変えないのもまた難しい気もするんですけど、そもそも検討してたのかとか、</p>
0:48:26	<p>いろいろわからないところではあるんですけどそういうのも含めて全部検討されてると思っていいんですよね1水源と固陋DBと同じにしてくれとかっていう、何かそこに短絡的な説明になってるときつい気がするんですけど。</p>
0:48:39	<p>はい。日本原燃志田でございます。当然ながら、プールも含めた1水源としての存在と、地震起因であったり想定破損だったりも含めた上での水源等、</p>
0:48:52	<p>いわゆる私から言ってるのは操作場所で、どんな操作をするのか、アクセスルートであれば、どういうことを考慮する必要があるのか、保管場所だったらどういう保管をしているかどこまで耐えられるのかと。</p>
0:49:06	<p>いう、それぞれの設計であったり操作との関係で、必要な条件を設定するっていうのが本来あるべきことだろうと。そういう意味では実際プールも含めて全体そういったアクセスルート操作場所を保管場所との関係を含めて、</p>
0:49:21	<p>話をしていくということです。はい。</p>

0:49:26	清町タジリです。今言われたようにS Aの観点でいうと対策のほかそのアクセスルートの話とかがあってただそれ許可のタイミングでどこが必要になるかという話はもう話してきてるはずで、
0:49:38	いっぺんに先生に全部する必要があるのかっていうところも、そこらのS A設備があるところとS Aの対策に関係ないところだったら別にいっぺんに説明する必要もないとかいろいろ検討はさ0ているべきでしかるべきだと思っていたので、
0:49:54	さっきの言葉が簡易的に言われただけだと思っておくことにはしますけど、
0:50:00	何かこのスタートから津村が言ってもう始まらなくて、何やってるのかなという感じになりそうなので、ちゃんとやっていただければと思います。
0:50:11	はい。日本原燃志田でございます。はい。おっしゃっていただいた通り、S Aの対象のところの有効性の説明でもアクセスルートと、当然その環境との関係で整理して、何度か来審査会合のやりとりをしていると。

0:50:28	<p>いうのもありますのでそれも踏まえた上で、決定をすると、そのその時点で整理されていることはそれを前提だと、いうことも含めて、話をしていくつもりでもおります。</p>
0:50:41	<p>はい規制庁タジリです。</p>
0:50:44	<p>不満話はこれぐらいにして、今後という意味でなんですけど、物そろってちゃんと上流からやってきましょうねっていうのは当たり前の話ではあるんですけど、</p>
0:50:54	<p>正直水不安しかないので、</p>
0:50:56	<p>1回、よく資料の00-別紙4とかのベースでいいので、全体をちょっとなぞって軽く確認するヒアリングや事実確認として後々もっと何か事例みたいなもの出てこないかってのを確認するヒアリングをちょっと早めのタイミングでやってしまいたいと思ってるんですけど原燃は対応できますか。</p>
0:51:15	<p>はい。乾イシハラでございます。はい。対応、教えていただきます。はい。</p>
0:51:22	<p>はい規制庁タジリですそのときには、許可で説明した事項と変更してるやつが、要は勝手に変更してもらっても困るので、あるんだったらその場で言っていただきたいですし、今みたいな話、要はこういう部分は検</p>

	<p>討していつ頃にはめどが立ってそうなんですっていうのを正確な日数まで出せないものもあるかもしれないんですけど。</p>
0:51:40	<p>助教も説明できるようにはしておいていただきたくて、</p>
0:51:43	<p>新津日にちに関しては事務的には調整できればと思うんですけど早めのタイミングでいければと思っているので、</p>
0:51:50	<p>原燃の人におかれましては、</p>
0:51:54	<p>資料はちゃんとできてるかとか抜けがあったかってのは今更言っても仕方ないんですけど、</p>
0:51:59	<p>提言、許可の時に何見てたのかっていうのを理解した上で、</p>
0:52:05	<p>自分たちが今設工認何書いてるのか、っていうのがあるはずで、それ作った過程において、ここは変えるしかないとかやってるんだったら当然わかってるはずだと思うので、</p>
0:52:15	<p>そういったところに関しては隠されたり、何か中途半端に説明されたりしても話が進まなくなるだけなので、正直に実際のことを説明していただけるように準備いただければと思います。</p>
0:52:29	<p>はいイメージでございます。いたしましたよく本文便通であったり整理資料も含めて、約束事はあったはずなので、そこも含めた上で、</p>

0:52:41	書いているところはちゃんと認識をした上で、ヒアリング等という形にさせていただきます。
0:52:49	はい。規制庁鳥井ですよろしく申し上げます。
0:52:52	ちなみに溢水薬品火災の今後ってどうします溢水に関してはさっきの話だと、少なくとも来週ぐらいになるまで、来週再来週かな、幾らになるまでなんかネタすら集まらない気配はしたんですけど。
0:53:05	葛西はどうしますヒアリングはとりあえず一緒にやるっていうから止めといて紙を出せるものだけ出してくとそんな感じになるんですかね。
0:53:13	はい。西田の前正井一緒にやると言って書き込めた形になっているんです資料を順次お出しをしていくということを進めさせていただければと思っておりました。以上です。
0:53:28	はい規制庁タジリ数。
0:53:30	なんでスタート部分でこけている分野こけてる部分を特定した上で、その上で説明できるところに関してはそもそも許可から聞いてきてる資料とか、今出てる資料でも確認できるところあると思うので、
0:53:42	おっきなおかしなものがないかぐらいは確認していければと思うのでよろしく申し上げます。溢水関連でほかに方向かあればよろしく申し上げます。

0:53:57	上出です。
0:54:00	何を思った時すごい状況なんだなと思って聞いてたんですけど、
0:54:06	最初にこけちゃってるってとこですね防護対象とか区画も防火対策も増えちゃうかもって話なんですけどそれはあれでしたっけあの会合しの場でもそういう話はするっていう古藤だったんでしたっけ。浅野議論では、
0:54:28	はい。李荻野石田でございますM I C E あの時点では
0:54:33	審査会合資料的には溢水自体は全く進んでないに近いので、外させていただくということで、資料的にはそういう形だと思ってましたが
0:54:43	なぜ進んでないのかの話は
0:54:46	資料としてさせていただくということは考えてませんでしたがりとりは必要かなという認識でおりました。以上です。
0:54:54	はい、上出です。午後に話をしてもいいんですけど、
0:54:59	今聞いた状況だと、先ほど耐震の機器数が確定できるって言ってましたけど、水のものっていうのは、防護対策としては、
0:55:12	Cクラスですけど、ポツの数に入ってくるもので、それが変わり得る状況なのに、
0:55:21	それを何も言わずに、機器数確定できましたって言われても、

0:55:26	何のこっちゃって感じなんで、結局それを、
0:55:32	配信数のところで、注記を入れていや、これはまだもうちょっとみたいな中途半端な状況になるんだと思いますけど、そうなるんだったらそのキックとなる。
0:55:43	被水のところあったと思うんですけど、ピックアップ液位さを探さないと、資料としてよくわからない状態になっちゃうんじゃないかなと思いますっていうことで、
0:55:58	はい。日本西田でございますはい。おっしゃっていただいてる通りだと思います。
0:56:04	はい。そこをどうするか、もう
0:56:09	考えます。はい。
0:56:11	数字を書いてこれが確定ですという言いながらも、変わる可能性があるんであればそこに何らか、
0:56:20	書かないとですね、その数字だけが独り歩きするのはまた誤解を与えます間違いですので、我々も嘘ついたことになりますので、そこも含めてどういう書き方、どういう説明の仕方にするかは、
0:56:32	考えた上で五行お話をできるようにさせていただきます。以上です。
0:56:38	はい深見ですよろしく申し上げます。私からは以上。

0:56:46	規制庁はその他、質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:57:04	ないようでしたら、
0:57:06	次の紙、
0:57:08	以上でありました。
0:57:11	宮城西原でございます。一応今日の朝考えというのは以上でございます。
0:57:19	規制庁かです。ちょっとよろしいですか。今被水の話って、5万のヒアリングでも、
0:57:26	多分出ると思うんですが何か、
0:57:28	延長をもう少し、整理した。
0:57:31	資料とかで説明いただいた方がいいかなって、
0:57:34	もっと白井ですが準備できそうですか。
0:57:41	はい。日本イシハラでございます。何か、
0:57:48	お約束できるほどの自信はないですけど、考えます。はい。
0:57:52	はい、規制庁課です。やはり、ちょっと深刻な状況かなと思いましたが、少し議論した方がいいと思いました。
0:58:01	その後、

0:58:03	あまり詳細にっていうわけでもないですが、スケジュール感とか、現状の正直なところとか、そういったところを少しまとめていただければと思います。以上です。
0:58:17	はい。人間の石田でございます承知しました。
0:58:21	長シミズです等もこれまで言ったことがちょっとあると思うんですけども、楨教諭と一緒にして状況をす。
0:58:33	伝えていただいたんですけども薬品についても一緒にいたところで、進めてるところだとは思うので役員の方もちょっとセットで状況を言うときには、
0:58:42	スレーブ
0:58:44	こんなにか問題点とかは言っていただければと思いますのでよろしくお願ひします。
0:58:50	はい日本エリアでございます。はい。承知いたしました。
0:59:06	もうこれで計上があったら連絡
0:59:09	等ございますでしょうか。
0:59:14	また日本原燃から連絡ありますでしょうか。
0:59:21	人間は特にございません。

0:59:24	それで
0:59:25	は、
0:59:34	録音てします。
0:00:01	録音開始しました。
0:00:06	それでは基本理念とのヒアリングを開始したいと思います。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和
0:00:14	等では4年、12月26日に申請のあった設工認及び工事計画の申請について、本日提出の資料と、
0:00:29	2月用6日7日8日に出てきた資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:37	それでは原燃から出席者の紹介と議題の構成の確認、説明範囲、達成目標を説明してください。
0:00:46	事務局でございます。
0:00:51	日本原燃側の出席者紹介します。
0:00:55	審査会合資料関係、事務局からサトウタカハシイシハラセガワ。
0:01:03	フジノナカハマ。
0:01:05	地盤モデル関係で、

0:01:08	マツモトヒロタニトガシを学生、あと当然設置様より、宇野様。
0:01:16	あと重大事故案件でございますけれども、こちらから、ホリグチ、玉内 7号、
0:01:24	以上となります。
0:01:27	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、画面協議させてい ただいてます。まず最初に、審査会合資料。
0:01:35	その後、地盤直下地盤モデルの検討状況のについて、
0:01:41	最後に、重大事故 17 及び蒸発乾固 00-01 以上となります。
0:01:47	それでは審査会合資料の方から、説明開始させていただきます。
0:01:55	はい。日本原燃石原でございます。
0:01:58	本日の朝、どういう形で進めて資料として形整えていくのかというやり とりをやらさせていただいたときの、全部が全部反映しきれておりませ んが、
0:02:11	ポイントになるところを修正をしてお昼過ぎになっちゃいましたが提出 をさせていただいております。
0:02:20	これが今画面 9 で出ている資料になります。資料の構成としましては、 2 ページのところですね、前回 1 月 20、

0:02:34	3日ですね、の審査会合のA P 5 ページ、5 ページのところのダイヤモンドが四つありましたがその上の中の二つのダイヤモンドで、
0:02:44	耐震設計の関係、あとは、耐震評価に関する、優先的に進める条文と いうことの二つの柱に対する、それぞれ①②、
0:02:57	耐震評価に関する①②③と書いてあったところの、どこのことを今言っ ているのかというのがわかるように資料との関係を整理をさせていただきました。
0:03:07	はい。その上で、それぞれの丸井千葉のところ申請対象設備を重要度 ごとに分類をして明確化すると。
0:03:19	ということになります。
0:03:20	その関係として右下スパンページでございます。こちらもまたすいませ ん今日朝行った修正が追いついておりませんが、前回、どういうことが 問題で集計が、精査中となったのかと。
0:03:35	ということも踏まえた上で対応方法の改善を図って集計をしているという 様を、3 ページのところの方針で示させていただくと。
0:03:45	ということで考えてございます。
0:03:48	具体の結果は4 ページ以降それぞれの条文のシートに数値として表れる ということと考えてございます。

0:03:56	そういう意味で右下 2 ページのところはその該当するページ数を書かさせていただくということで整理をしました。
0:04:04	耐震設計の方右下 2 ページの方にあります耐震設計に関する条文の②番のところについては、入力、基準地震動に基づく入力地震の策定、括弧地盤モデルと、
0:04:16	いうところになりますのでそれを、6 ページのところ、現状の
0:04:22	状況ということで情報を整理をして書いているのが、
0:04:26	その 6 ページの資料になります。
0:04:29	はい。
0:04:30	6 ページ 7 ページですね、の 2 枚を使っています。
0:04:36	また右下 2 ページのところになって恐縮でございますが耐震評価に関する第 8 条外部衝撃による損傷の防止等と言っているものの、サンプルになります。8 条の竜巻に関する事項として、
0:04:51	8 ページ、これ前回の審査会合で使ったページのところに青とか緑の枠をつけた状態になってございますがと。
0:05:00	これもまだ修正しきれませんが 9 ページの、構造図の説明の話、この 2-1 の構造の説明ということで、先ほどの、右下 8 ページの矢羽根の 3 番目の説明と、銀行を図るように、

0:05:16	整理をさせていただいたということでございます。
0:05:21	はい。右下 10 ページの重大事故につきましては今日この後のヒアリングを踏まえた上で審査会合で論点含めてあげるべきものがあるかどうか、そこまで行くかどうかを進めて、
0:05:33	11 ページを随時とさせていただいてございます。
0:05:37	はい。こういう整理をしますと 12 ページの書き方も非常にリンクがとれてないので、本来であれば 12 ページの書き方も修正しないといけないという認識がございすがまだ、そこも追いついておらんというところではございました。
0:05:50	全体としては以上でございます。
0:05:57	それでは、
0:06:00	ました。
0:06:01	それでは原子力規制庁側から質問がある方いらっしゃいましたらお願いいたします。
0:06:07	庁の田尻です。すいませんまず基本的な確認なんですけど、最初の時点だと全体の設立のやつってのはなくなるんですけど。ちょっと毎朝どこまで話があったか覚えてないんですけど。
0:06:21	はい。日本イシハラでございます。はい。

0:06:27	須藤の朝も話があって全体の数字を描きつつ、今で言う4ページとか5ページのシートをつけるという話でした。
0:06:37	全体の条文、主要なものも含めてですね、集計の結果が出揃って、その結果を示すことによって初めて、頭にあったページの集計になると。
0:06:49	ということもあって、今回
0:06:53	耐震のところと、外部衝撃、あと重大事故を入れるかどうかはこの後のヒアリング次第でございますが、のところを入れている。それ以外のところはまだ、作業として、ヒアリングでもまだ説明をさせていただいてないところもありますので、
0:07:09	そうではなくて申請対象全部の数を書いている表がいたと思うんですけど、これ拡充のやつだけが今残っていて、申請全体で、すみません、古作です。ちょっと
0:07:24	石原さんが言いたいこと等々、田尻が言いたいことっていうのは少し、
0:07:29	ずれた感じで話しているので、交通整理しますけど、
0:07:33	まずですね。
0:07:35	この資料で問題なのは、全体のその分類の見直しをする、見直しということが改めて再整理をしているということが、
0:07:45	2ページで耐震の事項にしちゃってるんですよ。

0:07:51	これ耐震重要度の分類を明確化をするっていうタスクではないはずで、
0:07:56	これ間違ってますよね。
0:08:03	石原さんどうです。
0:08:05	すいません容疑者でございますはい。3 ページ、耐震どこに入ったってのは違いますねはい分類が違います。はい。
0:08:12	はい。補足です。
0:08:14	前回会合資料見ると、まず分類があって、その上で条文ごと説明しますになり、
0:08:23	具体に書く上どういうふうになってくるのかっていう展開になっていくというので、本来は前回で終わっていたはずのもの。
0:08:32	なのです。で、なので前回の資料の 5 ページでは、具体の拡充を説明してきますよみたいな話になってくんですけど、
0:08:41	そこが終わらなかったなので、改めて今回その見直しの状況っていうのを説明しますという、一つ項目が残ってるんですよ。5 ページに書いてないからといって無理くり入れるんじゃなくて、
0:08:54	ちゃんと一つぽつ出して、
0:08:56	前回、

0:08:57	不十分であったところについて対応説明対応状況を説明しますと、
0:09:02	いうことにしないとおかしいんじゃないですかね。
0:09:06	はい。売り上げの吉田でございますはい。理解をしましたすみません。 そうですね前回、4 ページのところ、3 ページ 4 ページで第 2 回申請の概要と、
0:09:18	よって申請対象設備の、それぞれ申請書であったり A から B 4 までの分類に対しての数字を示した上で、次にそれを前提として各条文ごとに説明をしますよ耐震はこれっていう。
0:09:30	話をしていたのがおっしゃる通りですので、その
0:09:34	各条文に入る前の、申請概要のところといういわゆる申請対象設備の分類、ここが前回で終わりきらなかったでそのところを是正をして、今回改めて示しますというのが、
0:09:47	そうですね今の 2 ページに前にないと駄目だという認識をしました。はい。以上です。
0:09:54	はい。補足です。その上で A、
0:09:57	3 ページの話っていうのをどこまで示すかといったときに、
0:10:05	朝のヒアリングで見てた資料だと、前回市の介護資料、

0:10:12	の4ページで示したものの、リバイス版をつけるという形の案になって ましたけど、
0:10:23	今回ついていないということで、それについてはどういう考えのもとに 対応されていますか。
0:10:30	はいございます。これも朝のやりとり私が変に誤解をしたかもしれませ ん。
0:10:37	この確かにおっしゃる通り4分類をしてこれがまずトータルの数字とし て2万5000円の内訳だというのがあった上で、各条の話になって各条 ごとに分類を明確にして種、数を示している。
0:10:52	ということではあるんですけども、前回の審査会合の4ページというの は、その後ろにある各条ごとの数を大枠集計をした結果として示してい たというのもあるので、
0:11:06	今日の朝でもどこまでが終わったというのかと、イスイみたいなやつで まだ検討が残っているところもある中で、すべてが終わったと言い切れ るんですかっていうやりとりもあったのでそれをすべてやったというこ とであれば、集計は当然載りますし、
0:11:21	まだ我々として不安材料があるのであれば、そこは位置付けとしては、 単品の網羅しつつ、市全体の集計はまだ、

0:11:30	継続中という形になるのではないかとというやりとりをさせていただきました。それを踏まえた上で、現在のステータスを考えると、この全体の集計の数を出す状況にはまだなってないんじゃないかと。
0:11:44	思って、今回削除したということでございます。以上です。
0:11:49	はい。補足です。そうすると、
0:11:52	今日の資料の3ページで、
0:11:55	二つ目のダイヤで集計したって書いてあったりっていうのは、正しくなくて、
0:12:01	最後のダイヤも、1ページ以降に云々と。
0:12:06	なってますけどこれも最初お話した通り、各場で説明することの趣旨が違うということなので、記載はまた変わり、
0:12:16	どういうふうに、この種分類の数を提示をしていくかという方針としては、各条ごとに、順次説明をしていきます。
0:12:28	いう方針が書かれるということになるんですかね。
0:12:32	はい。乳井石田でございます。はい。おっしゃっていただいた通りだと思ってます。
0:12:38	はい。

0:12:39	補足です。田尻さんも大体こんなもんかと思えますけど言い足りないこととかあればどうぞ。
0:12:45	あ、規制庁タジリで大丈夫です。
0:12:50	それでは、規制庁側から他に質問ある方ございましたらお願いします。
0:13:00	規制庁小阪です。藤。
0:13:04	どうしようかな。赤嶺さん先どうぞ。
0:13:07	カミデです。何か3ページまでが終わったのかなと思って、4ページに行こうと思ったんですけどどうでしょうか。それでもより前であればお願いします。
0:13:16	おそらくです4ページ以降の話をしようにと思って、全体どうしようかなと思いつつ、単純に言うと、4567。
0:13:28	が耐震で、8以降が、その設備概要でと大きく分かれるわけで、
0:13:35	原燃として、介護説明分けてやりますかどういふつもりですかっていうのを聞いたかったんですけど。
0:13:50	はい。日本原燃石原でございます。はい。
0:13:56	私が言ったようですけど説明者の交代も含めたところで仕分けをしたいなというところも若干あります。

0:14:06	のでそういうことを考えた構成につなげて駄目だなというふうに今一瞬ですけど思いました。以上です。
0:14:15	はい。コサクです。また調整すればいいかと思うんですけど、2 ページ。
0:14:22	今日の説明事項ということで項目を挙げて別項目にされているので、その辺りは対応できるかと思っています。
0:14:33	カミデさんどうぞ。
0:14:37	はい。カミデです。4 ページからちょっと耐震の%等ですけど、とりあえず 4 ページに今、数は入ってきたんですけど、
0:14:49	あれですよ、前回会合の数字がそのまま入ってて、朝のヒアリングの話だと、今日この後、
0:14:57	今まで話を聞いてきたような考え方で集計し直したものが出てくるって いうことなんですけどまず状況の理解としては合ってますか。
0:15:08	はい。日本医者でございます。はい。おっしゃっていただいた通りでございます。今はあくまで、前回の数をそのまま書いているということ。
0:15:18	はい、五味です。わかりました。で、4 ページの表の右下に※があって 数値については精査中となっておりますが、これは外れてくるんですか。

0:15:31	はい。日本原燃石田でございますはい。今日、この後もちょっと話をしなきゃいけない、溢水の件もありますけども、基本的に我々としてはこれを外す方向で、
0:15:42	集計をしてお示しをするというつもりで考えてございます。
0:15:50	はい、規制庁神栖とりあえずはわかりました。あとは出てきたものを見て、おそらく確認が必要なところがあると思いますからそれはそれでちょっとまた別途ヒアリングで、
0:16:03	と思ってます。
0:16:07	そうですね。5 ページも同じような状況ですよ。同じですよ。
0:16:12	はい。人間の石田です。はいステータスは同じでございます。
0:16:18	はい。コサクです。ごめんなさい、古作です。今の説明の中で、一斉の話もありますけどっていうことだったんですが、それはあれですかね。いつ。
0:16:29	B1 の B クラス C クラスの内数の中に、
0:16:34	1 種
0:16:35	水源としない設備での耐震設計も入っている。
0:16:39	どうですか。

0:16:48	規制庁の田尻です。午前中に話を聞いていた時に、溢水に関してはその評価対象がちゃんと全部そろってなかったのが改めて見直しをしていて、
0:17:00	当初その部屋だけで収まるか、ものだと思ったんですけど、何か別の部屋にも影響が出るとか区域とか対象設備が増える増えないみたいな話が出てきたので、
0:17:10	そんなのを言い出すと全体に影響が出るんじゃないかっていう話だったんですけど、今の石原さんの話っていうのは消す方向でというよりはそれまでにちゃんと九州とか全部ちゃんと完了できそうなもう見めどは立ってるので、そういう方針ですって言ったと思えばいいですか。
0:17:26	はい。猪狩志田でございます。まず数字は確定させるという意味は、そこまで追加が必要なものも全部あった上で、数字として示しますと、
0:17:36	いうつもりで言いました。特に今田尻さんからちょっと医師キーワード出させていただいた通り、例えば防護区画が増えることによって、対策設備が増える、いわゆるが増える可能性が
0:17:50	あるんじゃないかというのが一番今思っていたところでございます。以上です。
0:17:57	コサクです。そこはわかりましたけど、

0:18:04	私が最初 1 対 1 水源にしない設備の耐震設計っていうのはどういう扱いになるんですか。
0:18:17	はい、井上石田でございます。溢水から耐震への紐づけっていうのも以前のヒアリングでご説明させて頂いていただいておりますが、1、
0:18:36	すいません私も何か怪しくなってきました。ちょっと確認しますすいません。
0:18:42	カミデです。私の理解はここそれもちゃんとヒアリングしないとイケないんですけど、56 条、要は 4 ページの世界では、
0:18:53	被水で、S s 機能維持する B C っていうのはただの B もしくは C としているということで、イスイ側の
0:19:07	分類のところで、耐震に渡す P C がこれだけありますっていうのが明確になるのかなと思ってました全体整理された段階でその辺の仕切りを
0:19:19	火災も含めてですね、聞こうかなとは思っていたんですけど、今、耐震しかないんで、ちょっと見にくい状況ですが私の理解としてはそういう整理をしてるのかなと思ってましたが、事業者、どんな感じですか。
0:19:39	はい。日本原燃石田でございますすいません大変ありがとうございます。B、そうですね 1 セガワでの右として、

0:19:47	耐震対策防護対象であったり水源から除外する設備の設計が必要だということのエントリーをして、その設計の中での評価として耐震に紐づいていくという整理で、考えておりますということでございます。以上です。
0:20:04	古作です。まず作業としてはその流れなんですけど、耐震に引き継いでいくといった様をどういうふうに示すんですかという古藤だと思っすね。
0:20:16	で、
0:20:18	実際には、このB1の中にクラス変更も入っているので、次、それと基本同じGじゃないかなと。
0:20:29	説明しなきゃいけない内容はですね。
0:20:32	ということかと思しますので、そういうのはまとめて説明しますと、
0:20:39	いうことは、次のページとかになるかもしれませんが、
0:20:45	明確に、
0:20:47	ちょっとあれだ。
0:20:48	次のページをここでは、もうないんですね。
0:20:51	何か言っておいていただいた方がいいのかなというふうには、

0:20:57	はい。日本原燃社でございます。はい。おっしゃっていることは理解をします。例えば、設備を出すときに改造とかも含めてこういう設備がありますよ、関連する条文は、
0:21:11	S Eと耐震ですよと言ったらその紐づけがちゃんとわかるようにこの集計の中でも見えないと、駄目なので、それをちゃんと見てわかるような集計結果の示し方をするというのを、
0:21:23	我々が説明してるのがちゃんとそれぞれひもづいて言ったということがわかるようにさせていただきます。以上です。
0:21:35	他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:21:39	カミデです。4 ページ 5 ページだと、
0:21:44	細かい話ですけど 4 ページの、
0:21:48	下の矢羽根、二つ目ですかね、特に基準地震動をつくっていうのを矢印入れて、また 6 ページ、じゃないか、6 ページ 7 ページですっていうのは入れといてください。
0:22:05	はい。二本木の石原でございます。はい。承知しました。
0:22:10	はい。
0:22:12	はい。規制庁加来です。あと、6 ページ 7 ページなんですけど、言葉の並びぐらいな話なんですけど、

0:22:22	まずは、
0:22:26	7 ページの赤丸が支持地盤の物性値の設定に言ってるんですけど、6 ページの7 でどういう対応かというとならば6 ページだと要は平均地盤モデル。
0:22:40	のインプットになったものってことなので、7 ページの凡例は、平均地盤モデルの設定に用いたP S 検層 1 みたいな形で対応がわかるように、
0:22:55	書いておいてもらえますか。
0:22:58	はい、与儀根橋でございます。了解いたしました。
0:23:03	はい。規制庁梶です。あと7 ページでいうと
0:23:08	木、黄色というか黄土色というか、の枠が、6 ページで言ってるグルーピングってことだと思うんですけど、それも凡例に出て、この四角で囲ってるものが、
0:23:21	要は建設建屋のグルーピングということもわかるようにしといてください。
0:23:28	はい、宮崎小橋でございます。了解いたしました。

0:23:32	はい。規制庁神です。あと最後ですけど、7ページのMOX、あとは4Bは、もう認可済みですから他のとはちょっとフェーズが違うんで。ええ。
0:23:46	なんかグレーも使ってるんで難しいんですけど、もうこれは申請、第1回でもう認可済みですということもわかるようにしておきたい。
0:23:57	はい、米澤でございます。了解いたしました。
0:24:01	はい。規制庁カミデです。4ページから7ページについて私の方からは以上なので、ほか。
0:24:08	規制庁若菜お願いします。
0:24:18	規制庁の田尻です。7ページまでなければ次8ページから行こうと思うんですがよろしいですかね。
0:24:27	8ページ以降で竜巻のところ資料が書かれていて、8ページのスズキとかの清さんのところは、耐震異常に前回やつがそのまま貼られてると思うんで精査いただきたいってのが1点と、
0:24:40	あとちょっと一応確認しておきたいんですけど、このオレンジ色枠っていうのは最後まで今回残そうとしてですがさっき耐震のところは書いてはなかったんですけど、これは今回どこまでつけていこうとしてますか。

0:24:53	はい。日本原燃石田でございます。
0:24:56	先に答えぎます小池させていただきます。はい。
0:25:01	規制庁館です。なんでオレンジ色枠というよりは、緑色枠が、今回一部しか説明できてないんだからその続きやりますよみたいな花Cが説明あってだからオレンジ色は書くまでもなく残ってるやつ当然その続きからやっていきますよっていう位置付けになるんですかね。
0:25:16	はい。二本木石田でございます。おっしゃっていただいてる通りでございます。これを順番にやるって名前宣言した通りでございますして緑が一部しかやってないのは当然残りも含めて、
0:25:26	順番に説明をしていくということでございますしです。
0:25:31	はい規制庁鳥栖わかりました等、8 ページ、8 ページはその次のページも精査中ということだと思うので、直してくださいねというのが一つなんですけど。
0:25:43	朝のヒアリングでも少しお伝えしたんですけど、前のページでは1 ポツとかポツと2 ポツ一位が枠で囲われてるんですけど、ここにポツ1か2-1か2-1から始まる形になってるので、

0:25:55	ここ、第1回で確認したハンチ流であるということだけプラスこういった設備、第2回においてはこういったところも説明してかなきゃいけないんですっていうんで防護板の話とか
0:26:06	工学とか細かい話どこまで書くかってのはわからないですけどそういったところまでやりましたってのが1ポツ目は本来あるはずなので、いきなりニノイチに行くと、上流からやってきたのがまた見えなくなってしまうので、その点意識した上で今後修正したやつ見せていただければと思うんでよろしくをお願いします。
0:26:21	はい。エリアマネージャーでございますはい。現場にということなのでおっしゃっていただいて、
0:26:28	秋田ってどうするか悩んで、間に合わず、恐縮でございます。はい。
0:26:33	1の方も変えた上でつなげます。はい。
0:26:35	コサクです。1の前にですね、申請対象設備もなんですけど、
0:26:40	今回説明する事項とって青枠にされていて数字だけ書いてあるんですけど、
0:26:46	この数gってどういうこと、どういうものっていうのが何も説明がない状態なんです、耐震の方ワー
0:26:56	Sクラスだなんだというところで、

0:26:59	概略は示されていると。
0:27:01	ということなんで、
0:27:05	藤。
0:27:07	18 ページで言えば 16 基っていうのは冷却塔と、こういうのがありますよと。
0:27:15	いうことをまずリストアップして、
0:27:19	そのリストアップしたところで、今回
0:27:25	2-1 の方ではこの部分を
0:27:29	一部として例としてまず紹介し、今後、それ以外も含めて説明していきたいと。
0:27:36	ということがわかるようにしていただければと思います。
0:27:43	はい。日本原燃車でございます。はい。
0:27:47	承知しましたというかできてない時点で言い訳をしてもなんですけども、はい、そのつもりでございましたが、間に合わずで恐縮でございます。そういったことが繋がるように、対象が何かっていうのを明確にした上で、後につなげていくと。
0:28:00	いう形にさせていただきます。以上です。

0:28:02	はい。補足です。16基は、リストアップすりゃいいっていう感じがするんですけど、B2については、1万4745基と、
0:28:14	ということで、とてもリストには無理があるので、ある程度累計にしてこういう種別のものになってますよという内訳で示していただければと思います。それは
0:28:26	分類の整理のところで小分類作りますと言われてたところに合わせて提示いただければいいのかなと思ってますのでよろしくお願いします。
0:28:36	はい。ユニシアでございますはい。承知しました。小分類であったりと、集計する時にやってた考え方を用いて、何か、何々が何機っていうグルーピングがわかるように示させていただきます。
0:28:55	すいません、上出です。ちょっと関連して、確認なんですけど、今回、今日また出てくる数字っていうのは、最初への1項2項で、1項2項を、
0:29:09	合わせたもの。
0:29:10	ですか、ファンにも入ってたりとかその辺どんな感じですか。
0:29:24	はい日本原燃、瀬谷でございます。違う。
0:29:29	ごめんなさい。確認が必要なんですけど

0:29:33	すみません、私が思ってたのと違うことを今言われちゃったので確認して後でございます。廃棄物も含めた数を数えてるもんだと思っていたので、はい。それが事実かどうかも含めて確認して後で回答します。以上です。
0:29:48	はい、深見です。ちょっと、逆になって言われちゃうと思わなかったんですけど、更問としては第1回の冷却塔って入ってますかとか、その認可済みのものが入ってる。
0:29:59	がどうなったのか、ちょっとその大枠の範囲っていうのわかるようにして欲しいと。
0:30:05	とりあえず回答もらえるとありますが資料で提示する際もわかる、そういう考え方はわかるようにしてもらえればと思いますので、よろしくをお願いします。
0:30:18	はい承知いたしました。
0:30:21	規制庁の田尻です。数字の関連でもう1点なんですけど、耐震の方だと4ページでDBのやつがあって5ページで性があるっていうので分類されてるからわかりやすいんですけど、
0:30:34	外部事象で今回竜巻に関しては結局申請対象設備のところでS A関連のものってどのように書かれるんでしょう。何か枠を分けて書いてでした

	<p>つけ、何か前回聞いた気がすんすけど結果が何かうろ覚えになってしま ってすみません。</p>
0:30:49	<p>はい。人間イシハラでございますこれも先ほど古作さんから耐震ところ でご指摘終わった溢水等、</p>
0:30:57	<p>耐震のリンクと同じかもしれませんがここではあくまでちょっと今、私の 記憶だけで現状話しますけど、8 ページで集計しようとしてるのはD B の世界だけの集計をし、しようと思ってました。</p>
0:31:09	<p>S A から飛んでくるものもあるんだよっていうのを、</p>
0:31:13	<p>明確にした上で、S A 側にはその対象物が入って集計されているとい う、飛び地みたいになってますけどそういう形になるかと思ってまし た。集計できれば当然ここにS A が、</p>
0:31:26	<p>で見なきゃいけないものが何機っていうのを入れ、必要があると思いま すけどどこまでいけるのかなと思ってました。以上です。</p>
0:31:35	<p>はい。規制庁館です飛んだりするのはわかりつつなんですけど</p>
0:31:40	<p>飛んできて受ける側のところで、どういったものが幾らいるかってのが わかんないと結局こっちの方で、強度であるとか、特に固縛とか、ほぼ S A がメインのやつを見ることになったりするんで、飛ばす側でわかる ように書いてもらってそれはそれで構わないんですけど、現時点で情報</p>

	がどこまで集約できてるのかよくわからないですけど、とりあえず整理をされようとしてるということだけは理解しました。
0:32:04	小坂です。ごめんなさい。今の話でいうと、耐震の方は
0:32:12	記載が 56 条だったり、32 条 33 条と、
0:32:19	いうところで明確になっているのでいいんですねちょっと 30、
0:32:24	南條の方は 36 条も入ってるから、あるんですけど、
0:32:30	で、
0:32:32	一方で、竜巻の 8 ページいくと、
0:32:36	数字はそうだと、
0:32:39	次の 1 ポツを見ると、重大事故って書いてあるんですよ。
0:32:43	平仄が合わないんで、
0:32:45	数字がそうなのであればこちらも DB の話で、S A のについてもあわせてやっていますよってそちらの数字はそっち受け、
0:32:56	もとの 36 条側でというようなことになるかなと思いますので、ここに書くなら書く書かないならばないでリンクを貼る。
0:33:05	というようなところを整理全体合わせてやってください。
0:33:09	はい、宮城仁科でございます。承知いたしました。はい。

0:33:13	あと先ほどの数の件について河辺さんからのご質問については、再処理と施設廃棄物管理施設も全部込みの数字を今集計してますので、
0:33:23	活動の内訳なり各時には当然再処理の話と、廃棄物管理の話がちゃんとすみ分けてわかるように、数字を明記したいと思います。以上です。
0:33:35	はい、上出です。で、最初には1項2項の、今回申請分で、
0:33:41	ということで、前回の冷却塔は、物動かずに移ってますねということでいいんですか。
0:33:48	はい。日本原燃志田でございます。おっしゃっていただいた通りでございます。前回認可分についてはカウント対象にしておりませんので今回の申請分ということになります。
0:33:59	はい、わかりました。
0:34:04	規制庁館です。9ページまではあの資料で直される部分が多いのでこれ以上、今の時点だと思ってないんですけど他に、9ページまでで何かあれば経常ばかりお願いします。
0:34:18	コサクです。9ページで、1ポツの話も今後書きますということなんですけどその時に、これまでお話しているその他条文っていうのを、関連条文というのはどういうふうにするつもりですか。

0:34:42	はい日本原燃石原でございます。先ほども第1回の再処理だけというよりも第2回、第1回のMOXのやつも含めていくと。
0:34:54	関連情報としては竜巻に入ってくるSAもありますし、
0:34:59	というののリンクは、もうすでに説明してる内容と同じであるということからもそういったリンクもあわせて、
0:35:08	ここで書くのかなあとと思ってましたが、私なんかずれてますかね。
0:35:18	コサクです今、石原さんは誰に質問してるんです。すみません。小坂さんの質問に私が答えたかなと思って、ちょっと不安になってきております。すみません。
0:35:27	古作です。
0:35:29	阿南です。人、ここ、
0:35:32	設備概要の話をしてるところろうに帰着させなきゃいけないくて、
0:35:38	そうすると竜巻の要求事項だけ書いてもしょうがないんですよね。
0:35:44	一方でこのその各所で説明していきますという1ポツは、竜巻の設計方針を述べるという趣旨であり、
0:35:52	他条文のやつからのものが合流してこないと、設備概要の説明が成立しないということなので、1歩11にくっつけるの下に、2-1の前に入れるのか。

0:36:06	<p>どういお考えですかと、朝お話ししたように、この表ではわからんという事なんですけど。</p>
0:36:14	<p>いうのを、対応方針なんです、はい、Pの西原でございます。</p>
0:36:21	<p>今設備概要の構造を示している表で、最初に丸付けをしているものをあとそのあとについて、基本設計方針要求事項と基本設計方針の</p>
0:36:32	<p>表の部分がですね、例えばですけど、竜巻の中で多ジョブを意識して書いてる方針だけでクローズするんであれば、1ポツの中でリンクが張られると思ってましたけども、そうはなってますねあそこに書いてある</p>
0:36:45	<p>落雷であったり、他の耐震上の考慮であったけども他の条文での設計方針もコラボして、要求事項との紐づけをしますので、</p>
0:36:55	<p>2-1のところの頭に、他の条文の話を入れて、2-1を作って説明をしているという形になるかなと思ってました。以上です。</p>
0:37:06	<p>はい、補足ですよろしくお願いします。そうするとですね、そういうふうに説明していきますという方針がやっぱり最初にあった方がいいかなと。</p>
0:37:16	<p>思っていて、</p>
0:37:20	<p>等、どこになるんですかねえ。</p>

0:37:27	3 ページと 4 ページの間で入れなきゃいけないんですかね。
0:37:31	と思いつつ、
0:37:35	先ほど説明分けてやりますかというところからするとそこで言うよりは、
0:37:41	8 ページの前で、
0:37:44	説明があった方がわかりやすいような気はしますかね。
0:37:49	はい入社でございます。
0:37:53	今おっしゃっていたように本、本来の立ち位置であれば、サトウ様の間だと思えますとは飯山説明の順番をどうするか、説明者との関係も含めて構成をとったことから考えると、
0:38:05	今の 8 ページ、地盤の基準地震動の話が終わった後の、それ以外のやつ の話を始める前に、条文ごとという説明をしていたということを前提 でもあるけども、
0:38:20	設備の構造等を設計方針との紐づけを整理、説明するにあたっては、関 連する条文での要求事項というの踏まえた上で、感、関連性を持って 説明をしていきますよという方針を立てて、この後に臨むのがいいかな と思いました。以上です。
0:38:40	はい、補足です。よろしく申し上げます。

0:38:47	それでは、規制庁側で他質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:38:58	補足です。高梨さんは何か牧野先生、よろしいですか。
0:39:02	はい。よろしければ、規制庁高橋です。一応念のため確認ですけれども10 ページですね。
0:39:10	これまでの話と重なりますけれども、申請対象のところは、多分前回の張ってるということですが、午前中の資料ではご覧になったところもあったかと思imasuのでその辺のところは整理させて、
0:39:20	適切な対応をしてくださいというところですね。それからあと、
0:39:25	緑枠のところは、これからの議論を踏まえてということなのでそれを改めて確認してということで、
0:39:31	したいと思います。すいません、古作です。
0:39:35	朝の話と違っているんだけど、
0:39:39	どうなってるんですか。
0:39:52	介護で重大事故対象について何をやりたい。
0:40:05	はい、宮城西田でございますはい。午前中の話でおっしゃったのは、コサクさんいらっしゃった時点でやることない。要は、論点もないし、1ポツなんか何か説明することもないでしょっていう。

0:40:18	お話だったと認識をしています。あと、この後のヒアリングの方と認識をしています。今日も踏まえて今日以降またヒアリングがあると思うのでそこも踏まえた上でというお話をした上で、あくまで、
0:40:32	ないだろうと思いつつ、次いで今入れてました。すみません。
0:40:38	古作です。やることが明確になってないのに資料議論してもしょうがない。
0:40:44	この時点でそういう話ができてないやつを会合で、
0:40:50	議論はできないと。
0:40:52	高梨さん何かやりたいことありますか。いや、そういうタカハシです。そういうことではありませんはい。
0:40:59	やる議論することがないのであれば会合では、特に
0:41:04	コサクですタカハシさんそうじゃなくて、
0:41:07	ないのであればじゃなくて、自分はもう議論するものがあるのかって言ってるんですよ。はい。
0:41:15	タカハシないですね。そうです。
0:41:17	原燃は何かありますか。

0:41:20	この時点でっていうことですけど。はい、日本エリアでございます。はい。こちらもないと思ってます。はい。
0:41:30	はい、小崎です。
0:41:32	そうしましたら朝話したようにDBの方で火災なりは、拙速にやる必要もなくまとめたところで説明していくという方針だったと思いますので、
0:41:45	SAについても、特にSAは設備が多くて、ある程度体系立てた上で、
0:41:53	おい、なんていうかね。
0:41:56	河合複数回に跨って説明をするのだとしたら、
0:42:00	その会でのやることっていうのを明確にして話をさせていただかなきゃいけないので、そういう整理ができてない段階で、ちょこちょこつまみ食いのようにして出されても議論が収束しないので、
0:42:13	そういうところをまず整理をしてください。
0:42:16	はい、与儀石田でございます承知いたしました。
0:42:32	あ、あ、規制庁側で質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:42:47	ないようでしたらこちらの資料について原因がわから、まとめと今後のスケジュールについて、お願いいたします。

0:43:09	すいません。音声聞こえてないでしょうか。はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:43:16	全体どういう説明の順番でやるかを考えた上で構成を整理をするということ数のカウントのやつについては前回会合の5ページより前の話を、
0:43:28	前提としてやってるところのですね立ち位置を整理した上で書き場所各場所を明確にさせていただくということ、あとそれぞれの数字のところについては集計の結果を踏まえて、確定的な神事と、
0:43:42	ということで、数字を今後入れさせていただきますということですね。はい。あとオレンジの枠は全部受けさせていただきますということ。また
0:43:52	一番の方については先ほどあった言葉の修正等々、させていただきます。
0:43:57	はい。あと重大事故ところは削除という形で全体の整理をして、
0:44:03	明日、
0:44:05	資料の修正版を、
0:44:09	お出しをさせていただきます。
0:44:18	はい、ありがとうございます。
0:44:20	では次の大使の方の資料に移っていただき、私の方のお話に立って言うていただければと思います。

0:44:37	はい。
0:44:38	すいません。はい。井野議員の富樫でございます。本日といたしましては
0:44:43	先日ヒアリングの方さしていただいた
0:44:47	その後の進捗といたしまして計数ですねばらつき等を踏まえたところで少し検討した部分がございますので、その部分の当社のやり方といったところがずれていないかというところ認識の青線のところを、
0:45:02	させていただければなというふうに思っております。
0:45:05	それでは早速でございますけれども現状までのところで整理させていただいたものにつきまして大変恐縮ではございますけれども、ちょっと画面共有の方ですね、ちょっと資料の方をさせていただきまして、現状の方さしていただきたいというふうに思っております。
0:45:20	説明の方に対しましては香典設計さんの方から説明の方さしていただきます。
0:45:26	それをお願いします。ハセガワですけど、もう1回最初からやろう、やり直し。
0:45:32	やり直しして、ちょっと待ってて、
0:45:37	参加させてもらうから。

0:45:39	はい、わかりました。はい。
0:45:42	こちらに来られる。
0:45:43	はい。
0:45:49	何かこちらの会議室にこられましたらまたお声掛けしますので、その時から始めていただければなと思います。
0:46:28	91 回、1 回休憩 1 回休憩、休憩し、
0:46:36	上間さん。
0:46:38	すみません一旦、後 10 分ほど休憩を入れることになりましたので、
0:46:44	開始を 14 時半にしたいと思います。
0:46:48	議員がよろしいでしょうか。
0:46:53	はい。日本原燃了解しました。
0:46:56	はい。それでは 10 時半にまたよろしくお願ひします。志水です。ちょっと確認したいんですけども、管理官おられるから耐震の方後で休憩をやるってことで理解したんですけど、溢水とかの、
0:47:09	話って、後で。
0:47:13	規制委員会資料の中で大丈夫ですか。田尻です。とても自分の認識言いますね。今回会合にかかるのはちゃんと整理がついたものということ

	<p>で、耐震と竜巻だけになりましたので、一緒に含めて他のものは当然整理ができない状況というのが、元の回答になってますと。</p>
0:47:31	<p>溢水に関しては他にさらにたちが悪い状況になっていて改めて見直しをしてるんですけど、他だって全部そろってないけど変わらないので、会合で1個1個取り上げてどうこう言うまでっていうのは今考えていなくても同じでしょう。ただ、溢水の影響を受けて、セットしたという対象者とかマツモトとかに影響が出ないようには当然しなければいけないので、その部分に関して、</p>
0:47:51	<p>原燃として責任を持って来週の早い段階で確定させたものを示しますっていうのが今の状況かなと思ったんですけど認識合ってますか。</p>
0:47:59	<p>はい。日本原燃篠崎です。認識合っております。そのスケジュールで進めております。</p>
0:48:06	<p>うん。規制庁田尻です。会合資料としてはそういった形だとは思ってるんですけど、水の状況については明日ちょっとヒアリングをセッティングして対応内容を確認してこうと思ってるので、そのタイミングでの状況を確認できればと思ってるのでよろしくお願いします。</p>
0:48:23	<p>大上西崎です。はい、承知いたしました。</p>

0:48:28	ありがとうございます。それでは 14 時半に再開したいと思います。それまで休憩でお願いいたします。はい。
0:48:35	一旦録音いたします。
0:48:40	それではヒアリング再開したいと思います。それでは原燃側から説明の方よろしくお願いいたします。
0:48:53	はい。日本原燃土橋でございます。本日といたしましては昨日のヒアリングを受けまして我々の方で、直下地盤のグルーピングについての解析の検討といったところの深掘りを進めているところでございますので本日といたしましても、
0:49:08	画面共有という形の方で大変恐縮でございますけどもそちらの方の解析結果の方を、
0:49:15	協議させていただきまして、我々の進めている状況といったところが、の確認といったところを進めさせていただきたいというふうに思います。
0:49:23	本日いたしましても東電設計さんの方から現状進めている解析の結果についてご報告の方ささせていただきます。それではお願いいたします。
0:49:35	当然設計のものでございます。

0:49:37	今画面の方にですね移しておりますのはですね、中央地盤のですね建屋の赤で書いてございますのが中央地盤モデル、平均モデルと言っているものでございますが、
0:49:52	それとですね、青で書いてございますのが、表層及び及び直下モデルにつきましてその値を使ってる直下モデルといいますか、MOXと同様の方法で解析をしたものでございます。
0:50:08	これで見えますと、ちょうどここに0.3305、0.338というふうに、これ建屋のですね、こういう周期でございますが、
0:50:18	その固有周期体では、若干赤の方がですね、大きくなっているというふうな状況でございますが、コンマ1Hzのところ、へ1Hz周辺ではですね、
0:50:28	逆にですね、直下モデルの方が大きくなっているというふうな結果が出ております。
0:50:34	その下がですね、鉛直方向でございますが、鉛直方向につきましても同様の答えとなっております。
0:50:42	次にですね
0:50:45	次のページをめくっていただきますと、
0:50:47	これがAB建屋でございます。

0:50:50	A B 建屋につきましてもですね、同様に中央に書いてございます。水平方向ですが中央に書いてございます固有周期につきましては、赤の中央地盤モデル平均モデルがですね、若干大きな値になってございますが、
0:51:05	周波数体がですね高周期言いたい、高周期体の方に
0:51:10	高周波数体の方ですね、低周期の
0:51:13	方に行きますと、
0:51:15	若干、直下モデルの
0:51:18	方がですね、大きくなってるといふような結果が出てございます。また鉛直の方、下の鉛直の方につきましてもですね、同様の傾向で若干青のですね、
0:51:28	直下モデル、チキョウカ地盤モデルの方がですね、大きな値になってると、いふような結果がられてございます。
0:51:35	続きまして β ペアでございます。
0:51:38	計画案につきましては、固有周期が 0.26 近辺でございますが、この位置につきましてはですね若干直下地盤モデルの方が大きくなってるといふ結果が出ておまして、

0:51:51	それよりもですね、定周期、高周波数の方がですね、大きくなっていると いうふうな傾向が出てございます。また延長部につきましてもですね、 同様の傾向が出ておまして、この3建屋につきましては、
0:52:06	ほぼ同じ所同様の状況であるというふうな結果が出てございます。
0:52:14	ここまで今やってますけどっていうそういう説明よろしいでしょうか続 いてばらつきの方もご説明した方がよろしいでしょうか。
0:52:22	整備検討のは、
0:52:30	規制庁神です。説明てもらって、
0:52:35	どんなことやってるか説明してもらえればね。
0:52:40	うん。
0:52:42	はい、それでは相談設計の方でございます。それではですねばらつきの方 の検討の結果を決めさせていただきます。
0:52:50	こちらはですね、建屋のばらつきでございますが、これはですね中央地 盤モデルにつきましては平均モデルの±ワンシグマを、破線と1点破線 で示してございます。
0:53:04	また、浅野地点で直の方の青の方がですね直下地盤モデル、これ7行の ですね、平均をいたしましてそれに基づきます、平均値の±ワンシグマ を、青の破線と青の一点鎖線で示してございます。

0:53:20	これ、これを見てもみますとですね、赤のですね、中央地盤モデルに対しましては、表層までワンシグマしてございますので、若干ばらつきが大きくなってるとな形になってございます。
0:53:34	マイナス側の方ですと、周波数体がですね、周期の長い方向にずれるようになってございまして、プラス側では、では、逆に手術が短い側にずれるような形になっております。
0:53:48	直下モデルにつきましては、表層につきましてはもう $a s - i s$ でその物性値を用いておりますので、現状では、ばらつきを考慮してございませんが、この案の4日までににつきましては、7項のばらつき、
0:54:03	を考え、入れてプラスマイナスを示したものでございます。下に下がって、
0:54:09	いただきますと、これは鉛直方向でございしますが、鉛直方向にもですね、同様に、平均地盤モデルの方ではですね、ばらつきが大きくなってございしますが、
0:54:20	青野ですね直下地盤モデルにつきましてはですね、それほど大きな、速度構造のばらつきはございませんのであまり大きなばらつきを持ってないというふうな形になってございます。
0:54:30	続きましてA B建屋でございまして。

0:54:34	A B 建屋につきましても、同様の答えが出ておりました赤い中平均地盤モデルにつきましても、比較的大きな水平方向、横方向として周期方向のですねばらつきを持つような形になってございます。
0:54:50	また青のですね直下モデルにつきましてもコンマヘルツぐらいで、若干上下方向にですねばらつきを持つような形になってございます。
0:55:00	鉛直方向につきましても同様の傾向がございまして、赤の平均地盤モデルにつきましてもそのばらつきをですね
0:55:10	が起き大きく出てる、水平方向に大きく出てるということでございまして、青野直下モデルにつきましてもそのばらつきはあまり大きくないという傾向が出てございます。
0:55:21	続きまして経営でございまして、経営につきましても、青と赤のそれぞれ 1. 80008000 の比較を見ていただきますと、同様の傾向で赤につきましても、ばらつきがおっきな
0:55:35	傾向を示してそれが周期方向にばらついているというふうなことが見受けられます。鉛直の方向をでございまして、極の方向につきましてもですね、
0:55:45	同様の傾向が見受けられます。

0:55:48	現状のところですね、このような検討を進めさせていただいております。
0:56:00	思いじゃない。
0:56:02	今後の話を。うん。今後はだからでも、
0:56:06	このままだと思う。
0:56:08	この先、駄目だろうと解析する。
0:56:11	ですね、口頭解析のパターン、説明の方は以上でございます。
0:56:17	はい規制庁浜崎です。
0:56:21	大体今回の結果については説明、理解しました。で、
0:56:27	今ですね、
0:56:30	ちょっとまず確認なんですけれども、ばらつきじゃないケースで、総じて直下の方が短周期、大きくなってますけれども、
0:56:40	これの理由って何か考えてますか。
0:56:50	当然設計の方でございます。中央地盤モデルにつきましてはですね、減衰3%の線形ということで実施しております。直下モデルにつきましてはですねそのままですのですね履歴減衰を入れておりますので、

0:57:06	多分その減衰の差がこの部分で出てきているというふうに考えております。違うんですよ、先生、平均の減衰を置くと。
0:57:15	平均のそういう、そこは問題なのかもしれない。そうだね。
0:57:20	施設ハバサキです。今の説明で理解しました。あとですね今後今三つの施設についての説明あったんですけども、
0:57:33	同様の検討をですね、今後を進めるということによろしいでしょうか。
0:57:42	複数の検討ケース、条件は一緒です梅林さん、一緒ですか。でも複数 は、したちゃんとその日に応じた、
0:57:53	減衰をとってるんですけども、帰らない方は、一律のちょっと大きめの減衰をとってるんです。
0:57:59	じゃもう改版ない。
0:58:03	おそらくです。ちょっとよくわからなかったんですけど、今回、
0:58:09	途中経過としてお示しになられた建屋が何でこの建屋なのかと。
0:58:14	ということと今後進めていきますっていう、
0:58:16	いうところの進める、その
0:58:20	進め方っていうところろう、
0:58:22	説明いただけますか。

0:58:30	原燃でも東電設計でもですね、その計画を立ててる人をちょっと説明いただきたいんですけど、Xはね。はい。荻野衛藤氏でございます。
0:58:40	まず、当初、こちらの方のタケダといたしまして経営の部分、A Bでですね進めておりますのは
0:58:50	最初に施設の中でも、主要な建屋とかそういったところがございます、こちらの方の状況というところを確認したいと言って行きたいところがございましたので、こちらの方の3建屋といったところを先行して実施したといったところになってございます。
0:59:07	今後の計画といたしましては各地盤の少し影響も見ないといけないなどというふうに思っております、現状当社として実施しておりますのが東中央、
0:59:20	西というような形がございますので、そちらの方での主要な建屋群といったところをですね、まず、先行して進めていくといったところを考えているといったところでございます。以上です。
0:59:33	とコサクです。
0:59:36	とりあえず、気になったので最初に、
0:59:40	押さえておきたいというところで先行したのは、

0:59:44	うんと思いますけど、その阿藤地盤の状況を踏まえて考えなきゃっていうことっていうのもわかるんですけど。
0:59:53	その結果、
0:59:54	下というかそれを踏まえて、東中央西でそれぞれって言われても、
1:00:00	それはそのそれぞれの中で、どういうその違いが出てき得るかということとを分析するのが第Gなんじゃないですか。
1:00:18	はい、日本ヘトガシでございます。今古作さんがおっしゃってられるのは、おそらく中央の中でも、中出の東西方向、南北方向というところでの違いといったところを各施工としてあるだろうというふうな形で認識いたしました。
1:00:34	少し全体像を少し早めに押さえておかないといけないなといったところがございまして、今、我々の方で今思っていたところで、先ほど西野代表として、施設東として、A Cを先行で進めていくといったところは、今現状進めているところでございますけども、
1:00:52	その中で、さらに優先度として、東側の方でいっぱい建てふやすんではなくて、中央建屋内をですねしっかり固めるといったところもございまして、そういったところに関しましては今、進めているのがA Cと言

	<p>いつつもございますので、それに合わせた形のところでちょっと中央区 というところでしっかり押さえていって早めに</p>
1:01:12	<p>中央でのエリア状況といったところを使っていくといったところを今後 進めていきたいというふうに思います。以上です。はい。</p>
1:01:20	<p>はい。わかった。そうですそうです。今言われたところからすると、そ う、各建屋の選考を各エリアの</p>
1:01:34	<p>先行のものをまずやる区内のが、</p>
1:01:40	<p>今、平均地盤と言ってるところの同一エリアの中で、地盤特性でどう影 響してくるのかという分析をまず中央を先行して、</p>
1:01:51	<p>やって分析をしていきたい。その結果を踏まえつつ、また或いは先行し てやってる一つの建屋の結果を踏まえつつ、</p>
1:02:03	<p>両側の東西の分析を進めていくという計画ということです。</p>
1:02:10	<p>はい。日本原燃富樫でございます。おっしゃる通りでございます。</p>
1:02:18	<p>規制庁浜崎です。</p>
1:02:21	<p>今日の目的っていいですかですね相当あったように、途中経過こういう 形で出ました。</p>
1:02:27	<p>ではなくてこれを踏まえて、今平均地盤モデルっていうのを、どうする んだという、</p>

1:02:35	検討をしてもらってるわけですがけれども、経過報告ということではいいんですけれども、今後例えば今、ばらつき考慮しない、短周期成分をちょっとが大きめですね。
1:02:46	で、それはな。どういう原因で、何ですかさっきの阿野さんの話だと、減衰のとり方じゃないかみたいな話もあったんですけど、そういう分析を踏まえた上で、
1:02:57	結局平均っていいの悪いのか、妥当なのかどうなのかっていう判断に繋がっていくわけですから、その点を含めて検討が今後必要かというのが1点。
1:03:09	それから今調査官から話がありましたように、東西中央1個ずつ選びましたっていうのもさ、最終的にはそうなんですけれども、
1:03:18	まず地中のV sのP S検層分という出てるわけですから、その傾向も踏まえて、どこから攻めたら、その説明ができるかどうかという観点です。
1:03:30	そういった観点でまず、この
1:03:34	施設、さっき言うグループですね12グループのどこから攻めていくと、いこうとかですね、そういうある程度戦略といいますか、説明の仕方というものがありますんで、こういう作業を、

1:03:47	引き続き進めて進めるというは、
1:03:50	話だったんですけども、そういうシナリオも含めてですね、今後説明してもらいたいというふうに思うんですけども、現にそういうスタンスでいるのでしょうか。
1:04:02	はい。
1:04:04	本当だ。
1:04:07	はい、日本円トガシでございます。箱崎さんからもおっしゃられた通りのところで基本的にどのような形のところで、
1:04:16	状況の分析といったところも必要だというふうなところは当然前回のヒアリングの中でもしっかりやっていますといったところは
1:04:24	お話しさせていただいているところでございますので、そちらの方の今、でやっている検討の深掘りっていったところは進めつつ、少し全体を見ていかなきゃいけないといったところで先ほどお話しさせていただいておるところでございます。ですのでしっかりとその一つ一つに対しての深掘りといったところもあわせて実施していくといったところを考えているところでございます。
1:04:45	はい、瀬下和崎です。下深掘りもじゃなくて深掘りこそが必要でして、

1:04:51	ある意味これ保守的な結果になりましたおしまいっていう、平均モデルでもう大丈夫ですみたいな、進め方もあるんですけども、いや、やはりやはり科学的な技術的な根拠というものを明確にした上で、平均モデルでいけるのかというような検討を今しているわけですから、
1:05:07	その根拠ってのはその深掘りのところにあるわけですから、その点、十分留意した上で検討ケース、どのサイトをどの地点どのグループを先にするのかとかですね。
1:05:19	結果に対しての考察、そこを十分した上で、実際、最終的にどうなんだという結論になりますんでですね、その点十分忘れないように、しっかり進めてもらいたいと思います。
1:05:31	現在よろしいですか。
1:05:37	はい日本原電マツモトですおっしゃることをよくわかりますので、
1:05:43	4番とか、赤堀コサクの深掘りを進めて参りたいと思います。よろしく お願いします。
1:05:52	規制庁浜崎ですこれ、
1:05:55	はいごめんなさい、古作です。ちょ
1:05:57	案、今の流れでですかねハバサキさん。

1:06:01	そうですねちょっと今の流れでもう一言あったんですが、じゃあすみません吉井です規制庁浜崎ですけれども、一応一通りある意味なべるといような意味ではですね、
1:06:14	ここのちょっと地盤の条件が違ってくると、例えばこのグループは比較的いいとか、このグループはやっぱり駄目だねみたいな傾向もわかるわけで、最終的に、
1:06:26	全部が平均でいけるとかいうことは多分ないと思うんですけども、本当に全部が平均駄目なのかという話も、にも繋がるわけですから、そこら辺の、
1:06:37	見極めも含めた形で、全体の傾向もまずつかめるという掴むというところが、一つの切り口としてはあると思いますのでですね、その点も含めて、
1:06:49	検討の方お願いしたいと思います。私からは以上です。すみません、調査官。
1:06:56	はい。補足です。
1:06:58	ちょっと岡井さんも言われたのは言葉じりがこちらが受け取りづらい言い方ではあったんですけど、

1:07:05	ハバサキが言ったように、一つの結果だけで分析をしても、全体を把握し切れるわけでもないだろうということで、分析は深めつつ、
1:07:20	解析の個数をふやして行って、各エリアについて議論ができるようにしていくということで作業を進めルー計画だというふうに認識をしましたけど、そういう理解でいいですかね。剛性です。
1:07:35	はい。日本原燃、松本です。はい。そういうふうに進めて参ります。
1:07:41	はいコサクです。わかりましたちょっとそこら辺もどういふふうに進めていくのかっていうのがわかるようになればいいなと思いますのでよろしくをお願いします。それで今日示していただいた結果の中でちょっと私
1:07:55	が そうですね、消化しきれなかったところがあってお伺いしたいんですけど。当然設計からの説明でいいんですが、不確かさの方で、
1:08:06	平均地盤のやつは不確かさが大きいので、直下は小さいというようなことを言われてたと思うんですけど、
1:08:16	ある意味当たり前かなっていう気がしてて、平均が一番全体のエリアでデータを分析しているので、そもそも違いが生じてるのは当然なんですけどまとめてるから、幅が出るということかと思ったんですけどそういう理解でいいんでしょうか。

1:08:38	設計の尾野でございます。今回の場合ですね、平均地盤モデルにつきましては、鷹架層と上部にあります埋戻し炉のばらつきを検討してございます。そうですね。直下モデルにつきましては、
1:08:53	鷹架層につきましては、7行のばらつきを考慮しておりますが、その上 のですね埋め戻し度はそのままの a s - i s ということで、ばらつきを 考慮しないで、その場の値を一つの値をですね、
1:09:09	そこに設定しているということですので、その部分のその部分のばらつ きが小さいので、直下地盤モデルの方がばらつきが小さいというふうな 結果になってると、いうふうなことでございます。
1:09:22	古作です。
1:09:24	何が違ってるとかという、
1:09:29	埋め戻しの表層部分の違いだけです。
1:09:33	それでこんだけ出ちゃいますっていうことを言われてるんですか。
1:09:37	当然設計のものでございます。平均モデル地盤は、表層のばらつきを考 えてございますが、直下地盤は表層のばらつきを考えてないということ になります。そうですね。なので、表層だけでこんだけ違いが出ますっ て言ってるんですか。
1:09:56	その理解ではないんだったら

1:09:58	それでどうこうだと、すいません。そうですね。表層だけで、このぐらいのばらつきが、の違いが出てるということでございます。
1:10:09	規制庁萩谷蘇武です。わかり、どうぞ。ちょっとすいません今の海野さんの説明で、今映されているばらつきの件数、表層のばらつき、直下の場 合ですね、表層のばらつき考慮してないって聞こえたんですが、そんなんですか。
1:10:28	大野関野でございます。表層につきましてはばらつきは考えてござい ません。取れてるところがですね、それぞれの二相ありますけども一つづ つしかとれ取れてませんのでその値をそのまま入れてございます。
1:10:43	規制庁川崎です。わかりましたけれども、やはりちょっと条件も含めて ですね、今後やはり確認しないとということで今、今、現段階としては 理解しました。
1:10:56	すいません。規制庁山崎です。調査官すいません。
1:11:00	はい。補足です。それで、何ですかね、最終的に評価に使う場合には、 どう扱ったらいいのか、また、
1:11:10	議論があるんだと思うんですけど、

1:11:12	それはいい効果が、分析傾向分析をするところなので、その条件だけクリア、明確にしといていただければ、分析ができるだろうというふうに思います。で、
1:11:26	それの上でお聞きしたかったのは、
1:11:29	基本的な概念として、不確かさを、
1:11:34	考慮すると。
1:11:36	いうことで評価をすることによって、厳密には
1:11:42	実態の地盤をて、詳細にモデル化することは難しいので、
1:11:49	それをその代表するような形でのモデルを作って評価をしていきますと。
1:11:55	ただ実態とはずれるからさ、不確かさでカバーしますと。
1:12:00	いう設計思想かなと思っています。
1:12:03	いてですね。そうすると、この不確かさの範囲内に、別のモデルで計算した場合というのが入ってきますよと。
1:12:15	いうことで、もう 1 基のその評価モデルっていうのが合理的ですと。
1:12:22	いう説明になるのかなと思ってたんですけど、基本概念は認識一緒でしょうか。

1:12:32	はい、日本遠藤橋でございます。今調整がおっしゃった通りだというふうに思っております。ないです。もうこれは冒頭に行かない。
1:12:39	補足です。当然設計の方も認識は一緒ですか。
1:12:42	／s e cの方でございます。はい。認識は一緒でございます。
1:12:47	はい。補足です。そういう観点からいうとやはり短周期の方が、
1:12:55	性状としては大分近くなってきてますね。かつ、直下地盤の方が大きいと。
1:13:01	いうことで、
1:13:04	少し考えを整理しなきゃいけないなっていう認識ではありますか。
1:13:11	当然設計のものでございます。この辺のところですね物性の与え方も、
1:13:17	いろいろございますので、そういうものも含めてですね、やはり表層の取り扱いですとかそういうものをですねもう少し考えて検討していかなければいけないというふうには思っております。はい、わかりました。 先ほどの減衰の
1:13:33	入れ方なりということで理解をしましたけども、そういった分析を深めていって、どういう事実がさ、

1:13:46	状態がどういうものでありそれをモデルとしてこういうふうに表示できるだろうというところでやってアウトプットとしてどうなるかというのを整理をしてまた説明いただけるというふうに理解をしました。
1:14:02	今、建屋のそういう周期で書かれてますけど、当然皆さんご認識をされてると思うんですけど、建屋の上、中には、機器があって、こういう周期にも、
1:14:16	意識しながら分析をしなければいけないというふうに思ってるんですけど、その観点で、はい。
1:14:24	はあれですかね。
1:14:26	その観点から全周期全部軒並みを同レベルで議論するっていうわけでもないと思うので、どこがポイントかみたいなことを考えながらやられるんでしょうか。
1:14:38	モデルでは影響。
1:14:42	はい、土橋でございます。まず最初の
1:14:46	考え方としましては、機器は基本的に建屋内の崩落の中に収まっているものというものがございまして、建屋内のプラレスポンスといったものを考えていくときにはやはり建屋の一次固有周期といったところをま

	<p>ず第一次スクリーニングとして見ていくべきだといったところを考慮 させていただきますので、</p>
1:15:04	<p>まずこの第1スクリーニングのところの建屋の一次固有周期でしっかり 見ておくことによって、ある程度建屋内のFRSの影響といったところ は、将来的に落ちてくるだろうといったところでこの建屋の一次とい ったところで現状検討を進めているというのが状況でございます。</p>
1:15:21	<p>古作です。まずは一次っていうのはわかるんですけど、それだけで大丈 夫かっていう心配をしてですね。なんかさ、そこはまだ、</p>
1:15:31	<p>検討してないってことなんですかね。</p>
1:15:36	<p>はいにお金同士でございます。やはり最終的に出てくる部分の、</p>
1:15:43	<p>現状の入力スペクトルでの影響といったところ短周期の影響というところ もですね、見ながら、そこは総合的な判断だというふうに思っ てございます。それまでは、今のこの入力スペクトルのところで、しっかりと した深掘りの検討を実施した上でですね、最終的なその絵姿に対して、</p>
1:16:03	<p>基金なり市の影響を、どうなのかっていうところは最終的な絵姿のもの に対して、深掘りの検討を実施していきたいというふうに考えておりま す。規制庁の長谷川ですけれども、ここの場で、単に今、予備解析の結果で、</p>

1:16:17	いろいろ、ちゃんと考えてないのにいろんな発言してもしようがないから、しっかり中で検討した上で、それでちゃんと議論しましょう。もう今日はいい。ここの話はもう、以上でいいです。
1:16:34	コサクです私もそれで結構です。
1:16:42	規制庁浜崎です。このに関してはじゃあこれでということですが作業の方は、先ほど話をした件ですね、原燃の方、引き続きお願いしたいと思っています。以上です。
1:16:57	承知いたします。
1:16:59	空いてないですか。
1:17:14	育てないと、この後に施策ですけど、本庁側、
1:17:19	セトガワさんとか誰だかすぎる人はいないですか。なるほど。なので阿比留側の方これ耐震のヒアリングが終わりましたので次のS A関係にいていただければなと思います。そうです。
1:17:32	はい。はいどうぞ。
1:17:50	はい。日本原燃の瀬川です。
1:17:54	では続けてS Aのヒアリングの方に入らせていただきます。使用する資料はですね、昨日、提出させていただいた、
1:18:05	十時 17、

1:18:07	メインに使いまして、必要に応じてですね、
1:18:12	もう一つの十時、10時じゃないや、蒸発乾固 00 を、の別紙 4 を活用して、補足的に説明させていただきながら内容をご説明いたします。
1:18:25	すいませんコサクです。瀬川さんすいません、十時 17 って何日提出ですか。失礼しました。
1:18:33	十時 17 レビジョンに 2 月 6 日提出の資料になります。
1:18:40	はい、わかりました。ちなみに蒸発缶、
1:18:42	000 市場。
1:18:45	失礼しました。きちんとと言わなきゃいけない。申し訳ないです。ですね。
1:18:56	蒸発乾固 0001 レビジョン 3、令和 5 年 2 月 7 日提出の資料となります。
1:19:05	はい、わかりました。よろしく申し上げます。
1:19:08	はい。
1:19:09	では、十時 17 の資料をご覧くださいページ、
1:19:15	5 ページを、
1:19:17	ご覧ください。

1:19:28	こちら前回のヒアリングでいただいたコメントをですね、反映したものとなります。
1:19:35	変更点を、ポイントを押さえてご説明いたします。
1:19:40	あとおっきなところでは、左下、溶解設備代替換気設備解体判例といったところからですね、前回の相関図ではですね、
1:19:51	上の 4.3 から入ってきているオレンジ系統構成だとか、事故のシナリオ、そういった内容についてのみ、
1:20:02	例えば一番下の大体判例から今、線が延びておりますけれども、中段ほどのところに線が延びておりますが、
1:20:12	オレンジの線、系統構成の部分だけを、この蒸発乾固に関する説明書に預ける。
1:20:19	そして、一方 9.2 を受けて、7233 下の段レンズ、安全冷却水系で具体化した 9.2 に関する方針、それについては、
1:20:29	直接、一番下のピンクの健全性に関する説明書に預ける、そういう矢印を引いておりましたが、まず一旦、その 36 条要求に関する部分も含めて、
1:20:43	一旦蒸発乾固に関する説明書で受けるという矢印に変更してごさいます。

1:20:49	この際に、こういった情報を、この中段の観光に関する説明書で述べるかといった部分につきましてはちょっと本日、
1:20:59	資料提出間に合わなくて、画面共有で、こんな考え方があるというのを別途まとめておりますので、それを後程紹介させていただきます。
1:21:10	はい。もう一つおっきな変更点としましては、左側、
1:21:16	溶解設備に 1、溶解設備に関する方針ですね。
1:21:21	ええ。
1:21:22	前回の資料ではですねこの溶解設備に関する方針は、中間の添付書類を経由せずに直接、
1:21:30	健全性に関する説明書の
1:21:33	あちこちでですね系統施設の設計方針、設計上の考慮ですね、こちらの方に預けるといふ矢印を引いておりましたが、
1:21:41	人工の発災元の貯槽もですね、やはり同じ蒸発乾固の対処の一部を担う、担うものであろうということで、
1:21:51	一旦、中段ほどの、今の矢印で赤い線で 2 ポチっていう所を新たに設けてまして、
1:21:59	こちらに 1 回預けるといふ、整理を再整理をさせていただきます。

1:22:05	はい。もう一つですねおっきなおっきなところですけども、
1:22:12	矢印を描いてございます。右下のところに、
1:22:17	設定根拠に関する説明書として前回資料は両矢印で各説明書等を結んで おったんですけども、
1:22:26	設定根拠説明書は、その、例えば 130 とか 0.5MP a という数字は、
1:22:33	そこの設定根拠説明書では詳細な背景まで述べることしません。シナリオベースで展開されるものですので、その背景とあるところは、環境に関する説明書、または水素に関する説明書、
1:22:48	そういったところに、その根拠をゆだねますということで、一方向の矢印に変更してございます。
1:22:54	同様に、設定根拠に関する説明書から、健全性に関する説明書に伸びる矢印これにつきましても、環境温度環境活力の設定というのは健全性説明書で詳細に、
1:23:09	解説して参りますので、その詳細はそちらにゆだねますということで1方向の矢印、そういった形に変更してございます。
1:23:17	はい。
1:23:19	あと、ちょっとそこまで大きな話ではないかもしれませんが健全性説明書からですね、具体的な内部流体温度圧力に対する、体制については強

	<p>度に関する説明書に預けておりましたのでその矢印を追加してごさいました。</p>
1:23:34	<p>はい。大きな変更点としては以上となります。</p>
1:23:40	<p>それでは規制庁側から質問ある方よろしくお願ひします。</p>
1:23:47	<p>規制庁の藤原です。</p>
1:23:50	<p>まず私から何点か確認させていただきたいんですけどまずはなんか矢印の説明の時に、少し言われてたような気もするんですけど、店舗テント間の繋がり、</p>
1:24:01	<p>白抜き矢印の、</p>
1:24:04	<p>凡例として書かれてるんですけど、この矢印の意図するところっていうのは、そもそもこういった説明はこちらの説明書にゆだねますよっていう、</p>
1:24:14	<p>矢印だと思っていていいんですよ。</p>
1:24:19	<p>はい。日本原燃の瀬川でございます。</p>
1:24:22	<p>今藤原さんがご指摘された通りですね、そちらにゆだねますという、思ひ出線は、書いているところもありますし、</p>
1:24:33	<p>また一方で、</p>

1:24:38	中段ほどにですね、上から下に向かって、
1:24:43	インプットというような形でですね、パスを出してる矢印というのがちよつと
1:24:51	混在してるなという今の指摘を受けてちよつとそんな感じを抱きました。
1:24:56	はい。
1:24:57	以上です。
1:25:00	規制庁の藤原です。ただ吹き出しがうまく書いてないだけかなというふうにこちらとしては認識してたんですけど、そもそも例えば3-2であったり、
1:25:12	冷却機能喪失の説明書から、ピンク色で下に県政におりている矢印。
1:25:20	なんかは、
1:25:23	事故、事故時の状況に対する健全性みたいなものは、健全性説明書の方で説明しますよっていう数かなと思ってたんですけど。
1:25:33	そうではなくてそれこそ本当にインプットってしたいってことですか、っていうのを表したかったってことなんですかね。
1:25:41	はい。日本へのセガワでございますこちらは、ちよつと矢印の方向が、

1:25:49	逆食うですね。
1:25:51	ゆだねるという意味であればですね、書類の中では、
1:25:57	例えば一番上の 1.3 の
1:26:08	あ、すみません、藤原さん今ちょっと音声飛び飛びになってしまいま して、
1:26:15	古作です。多分その前に聞こえてたやつが時遅れでまた入ってきただけ だと思うので、説明を続けてもらえればいいかと思います。
1:26:25	はい、日本原電の瀬川です。
1:26:28	中段の真ん中上から下に伸びてるピンク色の矢印ですね、これは健全性 説明書の中で、0.5MPaとか130度という数字を扱って、
1:26:40	それを加工して、環境温度環境圧力といったものに変換して参ります。
1:26:45	ですので、矢印としては、下の健全性説明書から上側に伸びて、130度 とか、
1:26:55	0.5メガの根拠というのは、植野観光に関する説明書水槽に関する説明 書にゆだねますという趣旨で記載すべき、そうすると下から上に伸びる のかなと思っておりましてこのインプットという表現を使うと、ちょっ と上から下なんですけれども、

1:27:11	実際にはその水素に関する説明書から健全性説明書に 0.5MP a をという数字を具体的にそっちに預けますという、
1:27:21	宣言はあの上の書類出しませんので、
1:27:25	矢印が逆かなと思っております。一方でもう一つ
1:27:30	藤原さんのご指摘のあった、
1:27:33	各観光に関する説明書等で述べられている、その系統設計の
1:27:40	36 条に関する具体的な適合方針ですか。
1:27:45	そういったものは、健全性説明書に預けますと、ゆだねますという、
1:27:52	思いも、思いというかそういう流れもございませう。その矢印につきましては、中段ほど 3 本ほど
1:27:59	線が伸びてて、中段中断といっても中段ちょっと下ぐらいですかね。
1:28:03	吹き出しで、各系統の 36 条に関する設計方針の具体は、8、こっちへ展開、これでも尼子がいいのか。
1:28:12	笠田氏ですので、明確にパスを出してますので展開といったところの矢印で表現していたつもりでございます。以上です。
1:28:23	規制庁の藤原です。今のご説明で若干しっくりきつつも、やっぱり言葉が今使われているのが、

1:28:32	間違いのもとなのかなとも思ってます。今聞いた認識では、今、衛藤ピンク色でおりにているものは、本当は上向きでしたと。
1:28:43	なので健全性から各、事故の説明書の方に伸びます。で、江藤多田、衛藤、それぞれの説明書から、健全性の方で説明してくださいっていう 36 条に関する設計の話ってというのが、
1:28:59	下におりてくると、それがオレンジの線だというふうに認識しました。それがわかるようにきちんと、この吹き出しについても記載をしていただきたいと思いますが、大丈夫ですか。
1:29:12	はい。日本原電の瀬川です本日のちょっとご指摘踏まえて、私も説明しようと思ってつまずいた時点で、
1:29:19	日本語が適切じゃないなというのを改めて認識いたしましたので、
1:29:23	きちんと
1:29:25	キーワード幾つも使わずにですね、本当に展開するだけなのか、ゆだねているのか、そういった観点できちんと言葉使い分けて表現するようにしたいと思います。以上です。
1:29:40	規制庁の藤村ですよろしくお願ひします。続けて、健全性説明書から下にさらに伸びているところでけえっと、これはでも健全性からが出てないのか。

1:29:53	他の上がそこから下に塗り日ていって健全性を突き抜けて、建設に行くものもあれば、その下の系統図構造図っていったところも、に到達してるものがあるんですけど、
1:30:06	系統図構造図だけではなくて配置図なんかも、こちらの方に降りてきて、強度の方に入っていくっていうものはないんですかねそれは健全性からだけ伸びるとは思うんですけど、
1:30:19	配置図に関してはどう検討されているのか説明いただけますか。
1:30:24	はい。日本原燃の瀬川です。配置図がいるというのは認識はしておったんですけども、申し訳ございません。
1:30:33	ちょっと
1:30:34	配置情報というのがその強度に関する説明書に、
1:30:40	直接すいませんコサクです。
1:30:42	話が二つあって、上の説明をする際に、配置図が必要ということなり図面が必要ということと、
1:30:52	強度を計算するのに、図面が必要ということの二つを一緒くたにしちゃったからこうわけわかんなくなってる。
1:31:01	ね。
1:31:02	はい、ご指摘の通りです。

1:31:05	はい、古作ですのでちゃんと仕分けをして記載をするということだと思います。
1:31:11	はい。日本原燃の瀬川ですきちんと目的に応じた表現したいと思います。
1:31:20	規制庁の藤原です。続けてもう1点聞きたいんですけども、2点とか2点なんですけど、まず、前回からの修正点で、設定コードの説明書の
1:31:33	ところとの兼ね合いで書かれてた両矢印を今回ちゃんと型矢印で方向性示しましたっていう話があったんですが、ただその吹き出しが今回の説明になっていないとっていて、
1:31:48	基づくことを記載とかってなっているのでこれもちょっと、前の多分ままでここまでは修正が至ってないのかなと思ってるんですけど、その状況ってどうですかね。
1:31:59	はい。日本原燃の瀬川です先ほどご指摘いただいたところろうん。
1:32:05	延長かなと思っております基づくことというよりはそこの設定根拠に切書いてある数字の、
1:32:13	根拠は、あちら側の添付書類にゆだねてますという趣旨ですので、
1:32:18	基づくことを記載ではなくてスズキの根拠はそちら側にゆだねているという趣旨で、全体、

1:32:25	見直したいというふうに考えてございます以上です。
1:32:30	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。その際に、今回はこのピンク色の矢印設定根拠の説明書から上に伸びているのが、すぐピンク色の囲いをつけている。内部は、衛藤温度条件とか圧力条件みたいなところに入れて入っていったんですけど、
1:32:48	これ設備の方には入らないんですかね。大体安全冷却水系とかあと代替換気設備とかそっち側には入っていないもんなんですか。
1:33:00	はい。日本原燃の瀬川でございます。
1:33:03	ですね、ちょっと、
1:33:08	頭の整理が甘かったかもしれないです。
1:33:15	そうですね、数字の根拠だけではなくてその数字をどの設備に当てはめるんだと。
1:33:22	言ったところは系統とセットもので論じられるような特定されるものであろうというふうに思いますので、
1:33:31	系統にのばす矢印もちょっと必要かなというふうに今ちょっとご指摘まえて、感じたところです。はい。以上です。
1:33:42	規制庁の藤原です。そうかと思うのでそちらも検討されて、追加していただきたいと思います。

1:33:49	衛藤とりあえずこの資料 17 の資料について私からは以上です。
1:33:54	すいません規制庁大橋ですけれども、ちょっと今の件で、関連して質問 なんですけれども、
1:34:01	設定根拠説明書の方から上に 3-2 の水槽のほうに伸びているので、薄 いピンクの 1.3 のところに、
1:34:12	ピンク矢印が伸びているんですけれども、一応ここでは、その温度圧力 湿度というようなことではないんですけれども、一応他にも、容量とか 前列面積とかあるんですけれども、そういった意味でもちょっと、
1:34:25	ここでいいのかなっていうところなんですけど、その辺いかがでしょう か。
1:34:33	はい。日本原燃の瀬川でございます。
1:34:38	とですねこれ後程共有する画面 9 に書いてましたっけ、あの矢印。
1:34:44	入ってない。
1:34:45	はい。申し訳ございません。それも含めて、
1:34:50	今日ちょっと、
1:34:52	ご意見を伺いたかったところなんですけれども、
1:34:55	今ですね、期

1:34:58	9点、左側の9.2の要求には個数容量に対する要求ってのもござい ます。
1:35:05	その個数容量に対する要求を、溶解設備代替関係代替案例の、
1:35:11	個別項目で、具体的にその事故の特徴に踏まえての個数容量の方針が具 体化されます。
1:35:18	で、その個数容量の方針を、
1:35:22	この矢印の通りですね、大体判例の基本方針という真ん中のところ、こ このところで、歩数容量に関する方針を1回受けようと思ってます。
1:35:34	で、その個数容量の方針に基づいて、具体的にどういう個数容量を確保 するんだについては、設定根拠説明書に示しますと。
1:35:46	いうパスを出そうというふうに今思っておりました。
1:35:50	ちょっとその、
1:35:52	矢印が書けておりませんが今ちょっと考えたそ、そういう整理をしよう と思っておりました。以上です。
1:36:02	はい。整理されているということですので、また改めて確認したいと思 います。
1:36:08	赤尾、ごめんなさい、古作です。

1:36:12	今の話と先ほどのフジワラの話も一緒にはなるんですけど、設定根拠に関する説明書で書く内容と、
1:36:23	系統なりの説明として、個数要領というのが出てくると思うんで、
1:36:29	それとの関係、
1:36:36	と、基本設定根拠で書きますというふうに言われたんですけど、
1:36:41	それで、
1:36:42	わかるようになるのかなっていうのがよくわからなくてですね。
1:36:48	で、
1:36:50	結局容量点。
1:36:52	例えば、可搬型ポンプの容量の根拠って何で示すつもりで今申請書を書いてあるんですか。
1:37:04	はい、日本へのセガワ可搬型ポンプの容量につきましては設定根拠説明書側で、
1:37:11	今、クローズさせていたところですよ。
1:37:15	コサクで済まそうそうだからさ気分みたいな説明になるんですけど、
1:37:20	それって、
1:37:22	でも、大本の設定根拠は許可ですよ。

1:37:26	許可の繋がりを持たせているのは、基本設計方針だと、第1章の4ポツ3であり、
1:37:35	それを受けるのは、真ん中に書いている。
1:37:39	乾固対象設備の説明書でありと。
1:37:43	いくなわけ、
1:37:46	大本はそこであるにもかかわらず設定根拠に飛ばすのは、
1:37:52	ていうので本当にわかりやすい記載になってんのかなってというのがちょっと疑問だったんですけど。
1:38:00	はい。
1:38:02	はい。はい。難しいな。
1:38:06	個数容量、日本原燃の瀬川です。個数容量も含めて系統設計、
1:38:13	であるという。
1:38:14	認識もありますもちろん。はい。
1:38:17	ですので、真ん中の乾固に折半する説明書で、シナリオベースでの個数要領といったところの背景を含めて述べた、述べるということをした上で、

1:38:30	一方で設定根拠説明書側でも、設定の概要概略みたいなアウトラインを述べた上で、詳細な背景は、泊個別の説明書にゆだねますという、
1:38:44	整理も、またこれもありかなというふうに思います。はい。以上です。
1:38:52	古作です。
1:38:54	あれですかね、
1:38:58	系統というか、
1:39:02	機能というかワー、ええ。
1:39:05	各説明書に書きつつ、それを踏まえた具体のポンプとしての性能というのは設定根拠にゆだねるといふ。
1:39:15	意味合いですか。
1:39:18	はい。日本原燃の瀬川ですもともと意図してたのは、今小阪さんが言っ てくださった内容かと、私はそういう今コサクさんがおっしゃったよう なイメージでおりましたはい。
1:39:29	古作です。わかりましたって。それで、
1:39:35	だとして、
1:39:38	藤。
1:39:40	おそらく、フジワラのコメントとも関係すると思うんですけど、

1:39:45	これ、何だ。
1:39:48	具体の数を、昨日、
1:39:52	根拠は設定根拠について振りつつもう設定根拠だって、系統構成の考え方を踏まえて、
1:40:02	こういうふうにやっていますっていうことにならないとおかしいなど。
1:40:08	いうところでどう、その
1:40:11	グルグル回ったような感じではあるんですけどお互い呼び合うというようなことも必要かなというのが、考えどころっていうことですかね。
1:40:25	はい。日本原燃の志賀新しいの中では、相互読み合いかなっていうのはあったんですけども、それはあまり美しくない、美しくないコサクです。いや別にそれ駄目だと言ってるんじゃないでそう、逆にそうしないと。
1:40:41	わかってる文章にやっぱり書けないのかなっていうことを今お聞きしていてですね、フジワラの言ってたのもそういうようなことになるのかなと思ったんですけど藤原さん何かイメージあります。
1:40:58	藤原です。
1:40:59	そうですね私も相互及びなのかなとイメージしつつ、
1:41:06	ていう感じ。

1:41:09	です。
1:41:10	と、
1:41:12	ただ江藤先ほどお話にあったように、昨日の話。
1:41:17	が、よっぽど山からこちらに流れてきてその中で系統構成を言って、
1:41:24	その中での、そうですね。
1:41:26	うん。相互呼び合いのイメージです。はい。
1:41:30	はい。補足です。大体わかりました。一方で、相互に書くと言った時に、ゆだねるというのではなくてそちらのことがあるからってということでの書き方に今の設定根拠の部分だとなると、
1:41:44	ということなので、この図示する際2湯予備、
1:41:49	読むんだカラー矢印そっち向けに書かないと思うのか。
1:41:54	受けとして矢印が入っているので、その上流側っていうのも書きますよ と言えればいいのかと。
1:42:01	ということでワー
1:42:05	整理として、

1:42:07	あっていいかなという気もするので、その点わあ、頭の整理を進めていただければと思うのと、あとこの図だけです、延々と議論してもしょうがないので、
1:42:20	この後 00 の別紙 4 で話をしていくことになると思うので、その際にこういうような関係性のところはこういう表現をしていきますと。
1:42:32	いう時に、今容量だったりの部分はこういうふうにしていきます。
1:42:37	いうので具体。
1:42:40	の認識合わせができればいいのかなと。それが最終的に、いろんな場所でこういうようなものがあるっていうのを、
1:42:51	具体的に菅
1:42:52	説明するのに、図ではこういうふうに、この図ではこういうふうに書きました。
1:42:56	いうところで話がまとまれば、す。
1:43:01	終着点に、
1:43:02	いくのかなというふうに思います。
1:43:06	日本原燃の須川です。大卒の情報の預け合いみたいなところはある程度、

1:43:15	認識があったかなというふうに思いますんで今コサクさーんからいただいた通りですねちょっと1回具体的に、
1:43:22	言葉じりも含めてですね、具体的に檀様、別紙4の形で、一度まとめさせていただいて、一度まとめるといっても全部一気にまとめるのではなくて、
1:43:32	このポイントとなる部分を1回まとめさせていただいてその言葉じり含めてですね、一度説明をさせていただければと思います。以上です。
1:43:42	はい、補足です。お願いします。
1:43:46	すいません規制庁大橋ですけれども、ちょっと整理の問題になると思うんですけれどもちょっと確認したいんですけれども、
1:43:54	この資料の左下のオレンジの四角の左から二つ目の枠の中の二つ目のポツですけれども、そこで36条に関する方針は、大枠を6-1-1-2-2の展開した後っていうふうに書いてあるんですけれども、
1:44:11	一方1.5.6大体換気設備から右の方の6の1-6-2の
1:44:19	第三課設備の説明書に飛んでいると、ということなんですけれども、
1:44:23	一応これは何か、一旦蒸発乾固の方に入ってから下の方の矢印の大体換気のほうに行く流れなのかなと思ったんですけれどもこれは何か直接延びるようなふうになるんですかね。

1:44:35	ちょっとわかりにくかったかもしれないんですけども。
1:44:40	はい。日本原燃の瀬川です。まさにですねちょっとこの後画面共有で、 ちょっと考え方に対して、ご指摘いただきたいと思ったところがございます。
1:44:51	画面共有をちょっとお願いしたいんですけども。
1:45:00	十時 17 の補足って書いてある資料。
1:45:27	少々お待ちください。
1:46:30	日本原燃濱口です。
1:46:33	共有している資料を元取りますでしょうか。今共有しているのが、えっ とですね、上に丸に留まってあってですね。
1:46:42	甘いものなんですけど、今出てるのが②と振ってあります。
1:46:47	何パターンか整理しているんですが、その左の桂の矢印だったら、
1:46:54	個別項目、個別項目からどのように、その個別説明書に情報を飛ばし て、
1:47:02	それを整理するかをパターンとしてまとめているんですけども、
1:47:06	1 パターン目が、1 枚目で、上に①と書いてるやつをちょっと広げて欲 しいんですが、

1:47:14	はい。
1:47:15	1枚目がですね、左下を見ていただきますと、大体安全で脚水系こちらからですね。
1:47:22	36条要求ピンクの吹き出しと系統設計オレンジの吹き出しをあわせて飛ばして、
1:47:28	真ん中ですね、個別設備の説明書、
1:47:32	こちらの、
1:47:34	大体安全で欠席で受けて、
1:47:39	はい。はい。で、受けた結果で、
1:47:42	ここですね、その説明書で36条要求の記載を拡充しまして、
1:47:48	この2ポツの基本方針のところにですね、
1:47:52	多様性ですとか積分3を記載した上で、
1:47:56	その情報をですね、
1:47:59	さらに、
1:48:00	柳井さんの方にも引き渡しますと両方で書きますと、
1:48:04	いうまとめ方が、①番の考え方になってます。
1:48:08	めくっていただいて、2枚目なんですけれども、

1:48:15	こちらはですね、真ん中ですね個別設備の蒸発乾固の設備の説明書での受け方で、
1:48:21	もう基本語学だけを受けて、基本方針だけです。環境の影響受けませんという基本方針だけ書いて、
1:48:28	具体はすべて、下の方にあります、6-1-1-4-2の方に飛ばしますよと。
1:48:34	いう整理の仕方を待つ6-1-1-4に、
1:48:38	整理をしてはどうかというものになっています。
1:48:42	はい。この整理をするとちょっと先ほどの議論であった設定値根拠のですね、繋がりがあまりよろしくないなというところもちょっとございますので、
1:48:52	その中間案としてですね、③番、
1:48:55	3ページ目になりますけれども、
1:48:58	3ページお願いします。
1:49:01	はい。
1:49:02	こちらでですね個別設備の説明書の方でするので、けれども、

1:49:07	あれですね、設備の方で、こちらですね系統に係る個数容量ですとか、あと悪影響防止、操作性の確保、ちょうど右側のピンクの吹き出しになりますけれども、
1:49:19	そういった基本方針をですね、記載した上で、こちらで、設定値根拠等ですね、関係を示しつつ、
1:49:25	これ以外の環境条件に関係するものはすべて環境条件の方に、
1:49:29	ゆだねたいということで1番目に下のピンクの吹き出しになるんですが、
1:49:34	大王製紙的なさんですとか環境条件の評価、試験検査そういったものは、
1:49:39	下の健全性で受ける。
1:49:41	というのはちょっと考え方をですね何個か整理していると。
1:49:45	いうものになります。
1:49:47	先ほどの議論の何でしょうか違うかどうかちょっとあれですけども、
1:49:54	この説明資料についての説明は以上になります。
1:50:01	規制庁の藤原です。ちなみにこの資料は何資料ですか。
1:50:05	位置付けをちょっと教えていただいてもいいですか。

1:50:09	日本原燃の志賀です。本来であればですね十時 17 の、
1:50:13	今 5 ページの資料をさらに、
1:50:18	情報の具体をどういうふうに付けていくかということを補足的に説明したかったので、十時 17 の後に、
1:50:25	つけたかったんですが、間に合わなかったのちょっと本日画面共有で ご説明させていただいていました。改めてつけたいと思っております。 以上です。
1:50:35	規制庁の藤原です。ということは十時 17 を、今日、再提出されてそこ につけられるってことですかね。
1:50:44	はい。日本原燃の生活再提示させていただきます。
1:50:53	わかりました秋津の藤原です。
1:50:56	すいません今、結局、パッと見てピンク色とオレンジ色とで、なかなか わかりづらいんですけど、
1:51:03	もう 1 回、
1:51:05	アキコ。うん。
1:51:07	と。
1:51:09	原燃としては、

1:51:11	どれがいいと思ってるとかそういう、
1:51:14	この3パターン、どれか選んでくださいってことなんですか、それとも僕たちはこれでいこうと思ってるって何かあるんですかね。
1:51:22	はい。日本原燃の瀬川です。
1:51:25	今、もう、
1:51:28	いるのはですね、個数容量に関する方針は、観光に関する説明書で述べ切らないと、受け先がないと思っておりますので、野辺切りたいと。
1:51:41	個数容量以外の多様性知的分散環境条件、そういった更新ですね。
1:51:47	これについては、乾固に関する説明書で詳細にその基本設計方針を受けて詳細に、
1:51:54	展開はせずに、
1:51:57	何ていうんでしょう環境条件等に対して、必要な機能を失わない設計とする。
1:52:05	その具体は、健全性説明書に示しますということで、大枠だけ書いて、詳細は健全性に投げる。
1:52:13	その整理をすいません、長田です。ちょっと
1:52:20	頭の整理をしていただきたいんですけど。

1:52:25	健全性説明書って何ですかと言ったら、まさにここで環境条件等って言うところの説明書なんですよ。
1:52:32	なので、
1:52:34	本丸があるのに、
1:52:35	ほんまに預けませんなんて有り得ないじゃないですか。
1:52:41	なのでそこはあんまり議論が必要ないことだと思うんですよね。
1:52:47	個数容量も、本丸は設定根拠ですというつもりで皆さん書いていたはずで、
1:52:54	なのに何で個別説明書等健全性説明書での、
1:52:59	関係性を悶々と議論するのかっていうのもよくわからない。
1:53:04	ということなんですけど、まずその2点、整理しちゃいましょうか。
1:53:15	はい。日本原燃の瀬川です。
1:53:19	そうですね。
1:53:22	まず個数容量以外は、本丸の健全性で、
1:53:27	しっかり

1:53:28	方針を展開するっていう認識は私も同じなので、ここは認識は、すみません、古作です。個数有料以外はっていう時点で私の今の問題提起、連れて行って、
1:53:41	じゃ、ちょっと面度ですけど、個数容量は、本丸は設定根拠っていうことで先ほど説明があったと思うんですけどそれはそれでいいんですよ。
1:53:52	はい。日本原燃の瀬川です。はいその通りだと思っております。
1:53:57	はい。補足です。そうすると、
1:54:02	先ほどは個別の説明書との関係で話してましたけど、個数要領っていうのは36条要求にも入っているので、健全性説明書でも何らか触れる必要がありますと。
1:54:15	ということなので悩んでるっていうことですか。
1:54:19	アイホンの瀬川ですその通りです。はい。
1:54:24	はい。補足です。そうすると一、それは
1:54:28	個別の説明書と設定根拠の関係を先ほどの話があって別紙をも踏まえながら、また整理しましょうねと。

1:54:36	いうことになっていて、そういうふう、その関係性を踏まえて、健全性の方では、飛ばし先っていうのを記載を考えますっていうことじゃないですか。
1:54:50	はい。大宮セガワです。本当その通りだと思います。
1:54:56	はい。なので
1:54:59	一緒にやるのか、シリーズでやっていくのかわかりませんが、それも別紙4での議論というところに対応いただければと思います。
1:55:08	この点まではいいですかね。
1:55:12	はい。日本原燃の瀬川です。承知いたしました。
1:55:16	はい。補足です。その上で、それ以外のものなんですけど、まず環境条件とするというのは、健全性説明書が本もあるということでいいですよ ね。
1:55:30	はい。日本原燃の瀬川ですその認識です。
1:55:33	はい。コサクです。ただ、健全性説明書でのインプットのなる内部流 体。
1:55:41	の条件というものは、
1:55:47	事故形態に応じるということがあるので、個別の説明書で書いた上で、

1:55:56	京成にです。野辺切りますと、
1:55:59	ということなので飛ばし、先ほどの飛ばし合いみたいなこと書きぶりになっていく。
1:56:04	ということでそれも先ほど話が終わっている。
1:56:07	思ってます。
1:56:08	そうすると、
1:56:10	あと、ここで書いてあるところで
1:56:16	言うとはあるんですけど、
1:56:18	次からは上から順番に行きますけど、多様性位置的分散等についてはどうするかと。
1:56:26	いうと、
1:56:27	健全性説明書に丸々飛ばしますみたいになってんですけど、
1:56:32	それって系統構成として説明。
1:56:36	大丈夫ですか。
1:56:41	はい。日本原燃の瀬川です。まさに多様性位置的分散という観点は、
1:56:48	系統構成の作り方のそのもののインプットになってると思ってるので、

1:56:53	まるっと投げるってのは大丈夫じゃないと思ってます。
1:56:58	はい。コサクですそう思ってたので、先日のヒアリングの時に、今回対応いただきましたけど、
1:57:06	一通り一旦は各説明書で受ける形にしないといけないでしょうと。
1:57:13	いうので溶解設備等とかっていうものもいっぱい入れて、全体としてここで系統構成の考えを整理ができるようにしておられると。
1:57:24	いうことだと思ってますから、この多様性位置的分散等の枠についても、この部分で言わなきゃいけないところはしっかり行った上で、
1:57:34	ある程度共通のものみたいなものは、健全性にゆだねると。
1:57:39	いうところでの関係性を整理をする必要があって、どの程度どう、
1:57:46	ゆだねますかねみたいなのは別紙4の中で整理をすると。
1:57:50	いうことと思ってますけどいいですか。
1:57:53	はい。日本原燃の瀬川です。理解しましたというか承知いたしました。 はい。
1:58:00	はい。補足です。その次、悪影響防止ですけど、これも系統構成に若干関係する部分もあると思って、多様性位置的分散等々ん

1:58:12	同じように議論をしていって、多少程度緩和、悪影響防止の方が低いとは思いますが、同じような整理をしていくということでもいいですか。
1:58:24	はい。日本原燃のセガワさん同じ認識です。はい。
1:58:29	はい。コサクです。残りが操作性の確保試験検査ですけど、
1:58:37	これーは、
1:58:40	試験検査はそんなに、系統として云々っていうのは、
1:58:45	あるかどうかっていうのありますけど操作性はどうですかね。
1:58:50	はい。日本原燃の瀬川氏操作性のところですね手動のバルブ切り換えができるようにするだとか、
1:58:57	簡易的な接続ができるようにするだとかっていうですねそういう方針を述べておるので、
1:59:03	これも
1:59:04	Fと訴えがあるから、
1:59:06	他系統ですね。
1:59:09	コウソクです。そそうですね今、都丸さんの案で示されてますけど、個別の説明書の中で説明しきるという形で、

1:59:21	書かれていて、
1:59:22	説明しきるならスキルでもいいんですけど、
1:59:27	実際にどのバルブで、
1:59:31	なぜなんだろうな、試験をするためのバルブをここに設置しますみたいな話だったりここはこう、
1:59:36	検査できるようにしますみたいなのは個別に書かざるをえないということだと。
1:59:42	思いますけど、共通の何か説明が必要であれば、健全性説明書の方でも受けるっていうことは、
1:59:50	あるんですかね。
1:59:51	その場合に、
1:59:54	健全性説明書で書いてる内容っていうのがちゃんと受けられてるかっていう関係性を整理必要。
2:00:00	整理する必要はないですかね。
2:00:15	はい。日本原燃の瀬川です。健全性の方では、もちろん 9.2 の共通的な本当に本当の本当の共通的な、

2:00:25	そういう悪影響とか操作性に対する方針も述べられてますので、それがきちんと展開されているかという照合、
2:00:33	中の各設備の観点で展開されてるかっていう消防は必要だと思ってます。
2:00:40	はい。補足です。というところからすると、これも呼び込むかどうかはちょっと置いておいて、県、結局9点。
2:00:52	基本設計方針の9.2から第2章側それぞれ飛んでいって、具体を、第2章側では書くと。
2:01:01	その具体について受けた各
2:01:04	説明書と、
2:01:05	ということなんですけど、具体を全部を書くわけでもない。はい。
2:01:10	第2章ですね、本文の第2章で全部を書くわけじゃないでしょうから。
2:01:14	ええ。
2:01:16	それだけで受け切れるというものでもないんで、9.2から健全性というところに健全性説明書というところで言ってる部分と、
2:01:26	漏らしないかみたいなどの照合をして、その際呼び込みで対応するのかどうするのかと。

2:01:34	いうことを最終的にか。
2:01:37	考えていく。
2:01:39	いうことだと思imasるので、
2:01:43	結局は先ほどの多様性位置的分散等と同じように、別紙4の状態に対 づけを見てみて、どうしていこうかという議論をすると。
2:01:56	いうことで
2:01:58	ウエイトは大分違いますけど、同じようなプロセスで作業していければ というふうに思imasですけどいかがでしょうか。
2:02:06	はい。日本原燃の瀬川です。はい、承知いたしましたそのように対応さ せていただきます。
2:02:15	はい。補足です。
2:02:18	今、磯佐瀬と試験検査性を何か最初言いつつ、
2:02:23	片方だけで言ったような感じがしますけど結局同じかなと思imasの で、ともに、今
2:02:29	ずっと試験検査性はまるまるフルみたいになってますけどそうでもない かなという気がしますので
2:02:37	今のお話の中で対応いただければと思imas。

2:02:40	藤原さん、あと何か追加的にあれば、
2:02:46	規制庁のフジワラです。
2:02:48	基本的に今幾尽くしていただいたと思ってますし、基本的に話にあったように別紙4で確認していければと思っているので、そちらで、
2:02:59	どういうふうに変えていくかっていったところで見たいと思います。
2:03:04	よろしくお願いします。
2:03:06	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
2:03:10	あ、すみません切ってオオハシあ、
2:03:13	ですけれども、すいません元はオオハシさんでしたねっていうのは、思っただけなのでどうぞ。はい。ちょっと今言った議論とかも必要なんですけれどもちょっと私が言ったさっきの指摘で、
2:03:27	さっき右の方の
2:03:31	ローマ数字の6-1-6、6-1-6-2表の大体換気扇説明書の方にこのオレンジの破線が左から伸びてますけれども、この先生はいるんですかというような指摘。
2:03:42	でもあったんですけれども、何かこの左下のオレンジの赤枠を見ると一 旦

2:03:51	ローマ数字 6-1-1-2-2 の方に展開した後その下に伸びるっていうふうにも読めるので必要なんですかという
2:03:58	ことではあるんですけど、その辺いかがですか。
2:04:04	はい。伊勢。
2:04:05	ごめんなさいコサクですちょっと。
2:04:07	今、大分丁寧に発言していただいたのに私が頭がぼうっとしてしまっただんですけど、第2章の 5.1. 6 から右に流れる矢印のことを言われて 1.6。
2:04:20	からその右の方の、
2:04:24	右の方に伸びて伸びて行って
2:04:30	6-1-6-2 の代替関係。
2:04:34	設備に関する説明書の方に伸びていってるんですけどもなんか左下の矢印で見ると、とりあえずすべては、蒸発乾固の方の説明書の方に伸びてから、下の方に行くのかなと思っ
2:04:45	こういう整理かと思ったんですけども、その辺の整理をちょっと、
2:04:48	聞いているところです。
2:04:52	はい。日本原燃、あ、すみません。はい。世古さんどうぞ。

2:04:57	日本原燃の瀬川です。
2:04:59	これも別紙の形で見ていただくと明確にわかるようになるんですが、左上の 4.3 の共通項目の方針ここで、
2:05:10	大体、安全冷却水系というものと大体換気設備というものを設けて、必要な対処が行えるようにするという方針がここで述べられます。4.3 ですね。
2:05:21	その方針を受けて、右がわあ、矢印、点線伸びてますけれども、
2:05:27	観光に関する説明書の 1 ポチのところで、
2:05:30	方針の展開がされますここでも代替案 0 と大体換気設備を使って、蒸発乾固の対処トータルやっていくんだぞというのがここで展開されます。
2:05:41	そのうち、
2:05:43	大体換気に関する系統設計の方針というのは、その下の 6162 の代替関係に関する説明書に記載します。
2:05:53	いう形で、何かハウリングしてるな。
2:05:56	初出しをします。
2:05:58	ハウリングしてませんか大丈夫ですかね。本庁は大丈夫です。
2:06:02	はい、じゃあ続けさせていただきます。

2:06:05	そういうまず上からの流れとしてはそういう流れになってます。一方基本設計方針側でも、4.3の方針を受けて、516と7233といったところで、各々の設備の方針が述べられますので、
2:06:20	それらの小部ⅠⅠの方針というのは、添付書類としてはこの矢印の通りですね、
2:06:28	さらに33の基本設計方針を受けるものが、
2:06:32	たまたま何ていうんでしょうねこれ添付書類の立て立て付けなんですね。
2:06:40	は今、大体関連は、6112の観光に関する説明書の3ポチの方に預けてます。ここの3ポチで書こうとしている内容というのはこの章立て見ていただきますと、下の6162と、
2:06:55	それだけがおんなじなってるのが見て取れるかと、おんなじでもないな。
2:06:59	同じ対応に使用する設備の設計方針と抜けてるな。
2:07:03	同じになります。
2:07:06	本来であれば、代替事例に関する説明書みたいなものを起こしてもよかったのかもしれませんが、それを便宜上ですね、6112のところの、
2:07:20	項目だけとして、整理した、そんなたてつけにしてみました。以上です。

2:07:27	はい。わかりましたけれども、若干細かいかもしれないんですけども、左下の、
2:07:35	いいのかな。何か大枠を2-1-1-2-2の展開するってあんですけども展開先はここだけじゃなくて、市野衛藤6-1-6-2の方にも前回という。
2:07:46	ことなのかなと思ったのでちょっと
2:07:48	その辺言葉が足りないなと思うんですけどもいかがでしょうか。
2:07:53	日本原燃の瀬川です。今岡さんが何でこういった質問されてきてるのか理解できます。すみません。
2:08:00	木田市の中の、
2:08:03	章番号。
2:08:04	大体換気に関する内容が抜けておりました。そこを記載しなきゃいけないと考えております。以上です。はい。
2:08:10	はい。私から以上です。
2:08:15	何か規制庁側から質問ありますでしょうか。
2:08:20	規制庁高梨です。ちょっとこの図からはちょっとずれてしまうんですが、これ前回、前回か前々回がコメントしてその対応ということで、な

	<p>んだ3ページ目のところちょうど今回の修正点ということで下線を引いていただいているところがあるかと思う。文章で書いているところですね。</p>
2:08:39	<p>あると思うんですけども、</p>
2:08:40	<p>図のみ整理の優先度とかみあったということで今回優先的に整理するところを展開して相関図を描いているということだと思うんですけども、</p>
2:08:53	<p>それ以外のところですね、のところちょっと後半の3ページの一番最後の三行ですね、何だっけ健全性から他の添付書類への展開については別途示すというのがあってそこはこの後別途指名ということかと思うんですけども、</p>
2:09:07	<p>それ以外に例えば、他条文との関係では、他のチェック条文で攻めるS s - Dを使うとかですねそういったところの関係性っていうのは、</p>
2:09:17	<p>この中に含まれているということに整理なんでしょうか。ちょっとそこところの整理を聞かせてください。</p>
2:09:25	<p>要はすべて日本原燃持ってる。どうぞ、瀬川です。</p>
2:09:29	<p>はい。ご認識の通りというか私も同じ理解だと思ってます健全性説明書に、</p>

2:09:37	他の添付書類から情報をもたらってくるものもあれば、健全性説明書から竜巻に関する説明書投げるみたいな委員とアウトの関係ってのは、健全性説明書を中心として、
2:09:51	発生しますので、その関係性を網羅的に整理したいということでございます以上です。
2:09:59	はい規制庁タカハシさんの今の点は、理解っていいですか同じかと思えます。それであともう少し付け加えてですね
2:10:09	その他のす資料で、いわゆるせ、この事故条文から手つい系の条文ですね、そこの方に繋がるような関係っていうのっていうのもここに含まれるかどうかってとこなんです。ここが
2:10:20	別途シミズの中に含まれるかどうか政策なんですけども、
2:10:24	はい、日本原燃の瀬川です相当関係性の整理も必要であろうという認識はありますが、すいませんこの3ページに書き切れてるかという書き切れてないですね。はい。以上です。
2:10:35	規制庁高間です。その辺のところは適切にいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
2:10:41	以上です。
2:10:44	成長が本人質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

2:11:01	はいないようでしたら次の
2:11:04	そうですね、蒸発乾固に進むと思いますが、いや、これ、あれでしょ蒸発乾固の方は、
2:11:12	わかりました。すいません日本原燃石原でございます。先ほど高橋さんからあったやつ今日の朝のミーティングでもヒアリングでもありました今瀬川が説明した十時 17 はですねこれ
2:11:27	新を作る前に本来やって、それを基に別紙を作ること。
2:11:32	相関関係を作って別紙 4 のあたってる図は、今作っている別紙 4 というのはこういう添付書類とリンクがあるんですみたいな話で作っても、それぞれ多分目的があって作ってるんですけどそれを多分全体パッケージにして多分、
2:11:46	御説明をしないといかんかなと。そういう意味で今 002 も同じようになっているかさっきの DB 条文との兼ね合いみたいなものを図がついてたりですね、複数の今が、SA 上は、
2:11:58	飛び交ってますので全体パッケージとしてどうするかを、ちょっとちゃんと考えた上でお示しをするということが必要かと思っております。以上です。
2:12:09	はい。とりあえず、これで終わりコサクです。それで言うと、

2:12:16	10G17 っていうことで、今話をしてますけど、基本別紙 4D の最小で行けんじゃねえのって思っていたところがあって、ただ、
2:12:28	今の話でいうと、十時 0、00 別紙 4 っていうのは、結局条文にぶら下がりであって全体像を示すというわけでもなく、関連条文との関係っていうことに、
2:12:43	関連条文の縁部との関係みたいなことになるので、
2:12:48	全体像ということを示すのに十時 17 というのが引き続き必要と。
2:12:55	いうことで
2:12:58	並行して整理をされるということでもいいですかね。
2:13:01	はい、塩入志田でございますはい今おっしゃっていただいたようにこの絵のですね多分ある断面を切り取ってみれば、00 の条文で見せると思うんですけどこれ全体像を見せるには、
2:13:11	ゼロの別所の頭では全然見えないと思うのでそういう意味では並行してこの中 47 もブラッシュアップし、確定をしていくという姿の展開が必要だと思ってます。以上です。
2:13:24	はい、わかりました。そうすると、比較的、まで話してたのは、冷却機能喪失の条文に対するみたいな感じのが強かった。

2:13:34	全体のそうするとタカハシの言った設備上部との関係だったりもろもろというところまで整理をしていくということで理解しました。よろしく
2:13:52	規制庁高橋です。ちょっと確認なんですけれども、今日冒頭でもあったかと思うんですけど、今日ゼロゼロ資料 S 1017 を説明するのに必要なところがあれば、
2:14:01	という形でついているという理解でよろしいでしょうか。
2:14:07	日本原燃の瀬川ですその通りでございます。今ちょっと、
2:14:13	うん。
2:14:14	キックをいただいたので、さっただけ、結局はですね今、昨日お出しした 00 資料の別紙 4 というのも、こういう方向性で別紙 4 を作り込んでいきたいんだといった、
2:14:26	方向性を示した程度のもものになってます。今日ご説明した 17 の関係性整理を踏まえてですね、別紙 4 の方拡充を図っていくんですが、
2:14:36	そのやろうと思っている流れというのをちょっとかいつまんでご紹介させていただきます。
2:14:43	十時 0、蒸発乾固 00 資料の 123 ページをご覧ください。
2:14:56	はい。

2:15:00	<p>内容はまだまだ、横野檀も足りてませんので、これをしっかり拡充していくということですね、思いとしては、先ほどの十時 17 の相関図にあるようにですね左側に基本設計方針、今これ 2 章から始まってますけれどもこれ一章から展開しなきゃいけないという認識がございます。</p>
2:15:20	<p>基本設計方針全部左に並べた上で、それを 1 回受ける、蒸発乾固に関する説明書、それが 2 段目に来て、どういうふうに情報を受けも持つのか。</p>
2:15:32	<p>そこから右側に展開先添付書類って書いてますけれども、まず健全性説明書との関係しっかり整理したいと思ってますのでまず健全性説明書に対して、どういう情報の引き渡しがあるのか。</p>
2:15:44	<p>その右側に、もう一つ設定根拠説明書も入れなきゃいけないかなと思っております。</p>
2:15:50	<p>それを入れてどういう情報が、どういうふうに引き上げなってるのかというのを、まず示したいというふうに思っております。</p>
2:16:00	<p>それぞれをやりたいのとですね、あと、今高梨さんから先ほどご指摘があったようにですね、健全性説明書を中心として、</p>
2:16:10	<p>関連する添付書類っていうのが、健全性説明書目線でいくと、他にも出て参りますので、それとの関係性整理ですね、健全性設備でどこまで述</p>

	べて、その内容が、その飛ばした先の添付書類でどういうふうを受けてるんだと。
2:16:25	いう関係性整理も、しなきゃいけないと思っておりますそれはまたちょっと別紙4のナンバリング変えて、
2:16:32	整理するのかなというふうには思っております。
2:16:35	はい。以上でございます。
2:16:41	規制庁の藤原です。
2:16:44	いいですか。
2:16:47	はい。市長の藤原です。まず先ほど瀬川さんから説明があったので、念のための確認、確認なんですけど、121ページにリストと、
2:16:59	いうので書いてあって目次みたいなものがあると思っていて、これ、衛藤備考の方に書かれているのは4-1と4-2をマージしていく。
2:17:09	雰囲気が出されているけれども、この別紙5についても取り込んで、最終的には江藤を、
2:17:17	ピンの二つというふうになるって考えていいってことですかね。
2:17:21	はい。日本原燃の瀬川でございますすみません、その別紙リストで表現できてなかったですね。

2:17:29	先ほどの十時 17 で関係性示しておりましたので、範囲というのはきちんと、この別紙 4 として、横に並べて比較していかなきゃいけないという認識です。ですので今藤原さんのご質問に対しては、蓋、トータル二つ。
2:17:46	まずは二つになる。健全性と健全性説明書といったところまでの繋がりという意味では、まず二つ。
2:17:52	さらに、健全性説明書からさらにどこに飛ばすんだというのはこの観光に関する説明書、観光の 00 ではなくて、十時 00 側で整理されることになるかもしれませんが、そういった比較も必要という認識でございます。以上です。
2:18:10	規制庁の藤原です。わかりました。ということはすいませんちょっと具体的な記載のところになるんですけど、124 ページなんかである、健全性の説明書の方に書かれているところから、
2:18:22	先ほどの図面でも、相関図でもそうなんですけど、後の強度に何か出ていくところはそっち側で整理されるっていうイメージってことですかね。
2:18:36	はい。日本原燃の瀬川です。
2:18:38	はい。そうですね。

2:18:40	強度に関するものもここに柿原していこうと思えば多分できるんだとは思いますが、
2:18:49	はい。うん。ちょっと宮さん、すいません、細田です。別にここで示せて言ってるのではなくて、どこでどう説明されるのかさえ明確になってればいいと。
2:19:00	ということで、もともとこの今回のヒアリングも十字等冷却とかはセットで、これまでも話をしてて、
2:19:13	それぞれ役割分担しないとねっていう認識は我々も持ってましたから、
2:19:18	今回、従事がないからこうなってるだけだとは思いますが、
2:19:24	いかがですか。
2:19:26	はい。日本原燃の瀬川ですコサクさんに今言っていた通りかなと思っております。この段票でどこの関係をどう示してるんだといったところはですね、
2:19:38	やはり抜け漏れなくお示ししたいなとも考えていて、場合によっては先ほどの十時 17 のマップみたいなところで、ここの範囲についてはどこの 00 資料の別紙幾つに示してますよ、こことこの関係は、
2:19:52	どこで示しますよみたいなそんな
2:19:55	示し方の場合によってはありかななんて。

2:19:58	ちょっとハードルが上がりました。
2:20:04	40社でございます一応今
2:20:07	このな4段票とか5段表になる場合もある可能性もあるんですけども、
2:20:14	先ほどの展開それぞれの矢印の分担的にこの添付書類のこの記載が、この点、他の添付書類でさらに展開される、もしくはその前提に、他の添付書類にこういう説明をしますという、
2:20:28	ひもづけがわかるようにしたいというのがもともとの前提でした。で飛ばすときは当然飛ばし先の添付書類の番号会計飛ばしますんで、そこで明確になるかなと。
2:20:39	あとあの設定公共も含めて備考なんかを使いながらこの数字が設定根拠とひもづけますみたいなことも含めて全体像がこれで追えるようにしたいというのがもともとの目的でした。
2:20:50	そういう意味で展開先添付書類の記載が、
2:20:53	必ずずっと同じ添付書類というわけじゃなくて途中で添付書類が入れ替わっ違う添付に変わったりということも含めて整理をしていこうかなと思ってました。以上です。
2:21:14	すみません、規制庁は質問ある方はいらっしゃいますか。
2:21:19	コサクですちなみに今の話は、藤原さん。

2:21:23	大体イメージは合ってるってことでいいんですか。
2:21:26	規制庁の藤原です。そうですね。基本的に、どこを見ればわかるっていうのが、明示していただければ、先ほども話があったように、
2:21:36	従事を見ながらとかっていうので終わるっていう話になってきますし、備考も活用しながらということですので、これはこっち側の説明書の方で言いますよって話も少し書いていただければ全部終わるようになるので、
2:21:48	大丈夫です。その方向で整備してください。
2:21:54	はい。コサクです。先ほどの振り返りで返事がなかったので、お聞きしましたけど、
2:22:02	途中で瀬川さんがハードルあり上がりましたかねと言ったやつが若干私も気になっていて、あまり
2:22:10	補足説明資料2、
2:22:12	そんどこまで頑張る必要があるんだっていうのがあって、今、フジワラ言ったように、どうなってるのかを、
2:22:20	認識が合ってれば、見に行けばいいだけなので、その点でもまずここをしっかりと書き込むというよりは、

2:22:28	この別紙 4 の一番最初に先ほどの図をつけるわけで、その中でこのあと別紙 4-14-2 と付けるものがどういう趣旨のものなのかって、
2:22:40	いうところを明確にすれば、あとはその先のものは従順の方を見てくださいとかですね。
2:22:48	いうので明示しておくだけでも比較的認識は合うと思いますので、そういう
2:22:55	合理化というかですね。
2:22:56	ええ。
2:22:58	入口での明確化っていうところを対応いただいたらなというふうに思います。よろしくお願いします。
2:23:05	はい。日本原燃の瀬川で紹介いたしました。
2:23:19	他、規制庁で質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:23:24	規制庁の藤原ですちょっと今回、このヒアリングの項目のメインとなる話ではないんですけど、この図 0 資料が今ちょっと提示されているので、少しお伝えしたいことが、というか、お聞きしたいんですけども。
2:23:39	5 ページ目のところで、全体の構成というか別紙 1 から 6 までの、
2:23:46	リストが書かれてるんですけど、そちらでちょっと見ていただいて、別紙 1 については一緒に 2 章の必要な設備について、

2:23:57	書かれていて別紙が作られてると。
2:24:00	123 という 3 段構成になって、三部構成になってるんですけど、他の別紙が 2 章の方しか作られてないのが気になってんですけどこれって 1 章は作らないんですか。
2:24:15	はい。日本原燃の瀬川でございます。
2:24:20	えーとですね、私の認識では別紙 2 だろうがなんだろうがですね、今回新たに 1 章の項目を設けたことによって、すべて同じように、1 章の展開も書くのが当たり前だし、そういう指示をしていた。
2:24:37	認識です。
2:24:39	とですね、ちょっと不幸不幸にしてというか今回の金金レビジョン 3 レビジョンさんじゃない今回の 00 資料は別紙 2 をいじってなかったというところもあって、
2:24:51	別紙 2 の添付をしていないんですが、
2:24:56	ところと、今年の 1 月 5 日には初回に提出させていただいた
2:25:05	00 資料ですね、そちらの方を
2:25:09	見れるのかな。
2:25:15	藤原さんはご覧になることってできますかね 1 月 5 日に提出した。

2:25:22	以上です。はい。三野狩野なので続けてください。
2:25:26	有井。
2:25:27	ちょっと見れますかと聞きながら私がそこにまだ行き着いてすみません、ちょっと少々お待ちください。
2:25:38	画面共有なしでお話をさせていただきますと今年1月に出したレビジョン4ですね1月5日提出レビジョン、受これ十時10時間失礼しますちょっと待ってください。少々お待ちください。
2:25:51	菅小市長の藤倉です間この001の1月5日版はレビジョンにですね。
2:25:58	はい。レビジョンにありがとうございます。
2:26:01	はい。これ一のですね、ちょっとページを、
2:26:05	めくっていただきますと、これは、
2:26:10	結論として先ほどの別紙リストの表紙が間違ってた、目次が間違ってたというのが結論に、んなります。
2:26:19	4、1048ページをご覧ください。
2:26:28	18ページ、1月5日に提出させていただいた資料の48ページから別紙2が始まっていくんですけども、一番左上の冒頭見いただきますと、共通項目、第1章共通項目という形で記載されてます。

2:26:44	ただですね、そのあとの、この後に大体換気設備が続くのかな。これが別紙 2-1 の中で連続して記載されてしまっていたためにですね、ちょっと
2:26:57	そうですね、50 ページにいきますと大体第 2 章の大体関係が出てくるんですけども、
2:27:03	相変わらずこの別紙 2-2 とすべきところを別紙 2-1 のままにしていたということで、一応あと内容としては入れていたということでございます。以上です。
2:27:14	規制庁の藤村です。理解しましたので多分、タイトルも括弧で大体換気設備と書いてあったので、タイトルとの紐付け多分日数が起きたのかなと思います。
2:27:26	ポイントを提出する際にその目次なり、タイトルなり、
2:27:31	ていうところを整理していただければいいかと思います。はい、ありがとうございます。
2:27:39	他は規制庁が質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:27:58	なければ、次の資料に進みたいと思います。
2:28:02	ちゃんですか。
2:28:05	専門外です。すいませんこれで。

2:28:09	瀬下空氏は、
2:28:10	明日、
2:28:12	振り返りとスケジュールの確認
2:28:15	です。
2:28:23	はい。日本原燃田町です振り返りさせていただきたいと思います。
2:28:28	まずですね 10、17 の方で、蒸発乾固の個別説明書、健全性説明書にピ ンクの矢印の修正ですとか、
2:28:39	あとオレンジ枠の説明ですとか、今回ご指摘いただいた内容をですね、 訂正して、1027 相関図というものをですね、
2:28:47	直していきますということが 1 点目でございます。
2:28:52	はい。
2:28:53	あとですね、
2:28:59	そうですね同じく授業の中で設定値根拠との関係性もですね、
2:29:04	まだ適切に調べてないのでそちらもですね整理をして示すということを行 います。
2:29:11	はい。その中でですね、先ほどの環境条件、

2:29:16	健全性の説明書の関係と、あと個別設備説明書の関係はですね別紙4の展開の中で、具体的にどの程度受け持つかっていうところをですね示していきたいというふうに考えています。
2:29:28	例えば宿題ですね。はい。
2:29:30	あとですねあとですね今も含めまして、4別紙4の方ですね、基本方針と、
2:29:37	中心となる設備の説明書、あと健全性説明書の関係、あと設定根拠の説明性設定値根拠説明書ですね、関係性も備考等を使ってですね、
2:29:48	整理した上で、再度議論させていただきたいということになります。
2:29:59	はい。あとですね
2:30:01	共通の最後、ご指摘ありました構成につきましても、ご指摘は、に際しまして、目次内容をですね整理するということを対応いたします。
2:30:11	まず振り返りにつきましては以上になります。
2:30:15	ですけど、
2:30:16	ルールですけども、
2:30:27	すみません、音声入ってないかもしれないです。
2:30:30	あ、すみませんちょっとタケダあすみません少々お待ちください。

2:30:35	スケジュールルーですけれども、まず別紙 4、前パッケージというよりは、預け、大体、安全冷却水系。
2:30:45	に対して、一通り通しで作りたと思っています。
2:30:50	すいませんコサクです。
2:30:53	それも無駄だと思ってて、
2:30:56	途中でその瀬川さん言われたように、す、十時 17 で行った
2:31:03	引き渡しの場所。
2:31:05	について、それ、ある程度そのポイントをついたところのレイジーさえ出てくれば、議論はできると思うんですけどいかがです。
2:31:15	はい。日本原燃の瀬川ですおっしゃる通りですね、もうそれすらも無駄ですねはい。
2:31:22	はい。十時、いや、そうですね。十時 17 に、
2:31:27	後ろにちょっとポイントだけ抜粋した形でのものをおつけする形で対応させていただきたいと思います。まずは、
2:31:36	古作です。今言われたのは、

2:31:42	00 の別紙妥当す、一応その一連のものが現状出ていてそれを消すっていうのはあまりよくないんで、暫定版をどう出したらいいかといったときに、十時 17 の方で一旦やって、
2:31:56	それを 00 別紙 4 に展開をするという作業プロセスにしたいということですか。
2:32:02	はい、ご指摘の通りです。
2:32:05	はい、小崎です。わかりました。
2:32:09	スケジュールですけれども、このやり方であればですね、もうあればですね、月曜日には出したい。
2:32:26	と思っております。すいません。ちょっと遅れて、2 月 14 の午前とかになるかもしれませんが、そのあたりを目指したいと思います。
2:32:37	コサクです。煮詰まってなくて全然良い話だと思いますので、ざっと整理をして、議論ができる、パーツがそろってればということだと思いますので、対応よろしくをお願いします。
2:32:53	今の、今日話をした
2:32:57	各添付書類の関連性、関係性としてどうしていくかということでの別紙 4 の議論というのはそれで進むと思うんですけど、

2:33:07	前々から言ってるようにS Aのヒアリングとしては、これ一に終始するわけにもいかないと。
2:33:15	ということで、設備概要については別途図共通 12 でしたかね、っていうところの枠になってるのでそちらで、
2:33:24	セガワむを合わせてやっていくということ等ですかね。
2:33:32	はい。日本原燃の瀬川です。その認識でございます。
2:33:37	はい。補足ですって、それはそちらのスケジュールでということではあるんですけど、どうなってるんでしたっけ。
2:33:54	少々お待ちください。
2:34:14	あれ。
2:34:17	足を下イシハラでございます。はい。もうちょっとスケジュール化に詰めますが、火曜日には資料を出してその後速やかにヒアリング設定。
2:34:28	それもS Aについてこういう形で整理していきますよという機器をちゃんとやらないとまた方向がずれたりしますんで、いくつかの設備で、そういう形で示させていただいていえるという形にさせていただければと思います。以上です。
2:34:45	はい、補足です。あれですかそのイメージを提示いただくのが火曜日。

2:34:51	はい。弓削西田でございますはい。今お出ししたやつがまだイメージが、ちょっと違うという話もありましたし、条文が全部並んでなかったりもしましたので、そういったところの整理をした上で、例示として火曜日に出させていただきます、
2:35:05	水曜日とか木曜日にヒアリングできるようにさせていただければと思います。以上です。
2:35:10	はい。補足です。高橋さんそれでいいですか。
2:35:15	はいそうですね資料をまず出していただいてそれを見て、ヒアリング調整ってことだと思います。
2:35:25	はい。そこです。あと
2:35:29	本来で言うとセットB。
2:35:33	を聞いていくにあたっては要求事項の整理があってというので、申請書の整備としては先ほどの話で進んでいくものの、内容としてのヒアリングもしていけないといけないかなと思ってんですけどそのあたりの計画っていうのはどうなってるんでしょう。
2:35:55	はい。日本原燃の瀬川でございます。

2:35:59	ちょっと今のコサクさんのご質問に対してダイレクトに答えることにな るかってのはちょっとは自信はないんですが、すいません。今ですね、 これ画面画面共有少し、
2:36:12	見せれますかね。
2:36:16	画面共有税。
2:36:23	希望なんかは、39条補足説明資料というエクセルちょっと開いていただ きます。
2:36:51	少しちょっと拡大を、
2:36:58	今本来であれば00資料の別紙3別紙5としてしっかり整理していかな ければいけないんですが、
2:37:05	まだ今、基本設計方針を練り直しておりまた添付書類の記載を見直して いるといったところもあって、なかなか00資料としての紐付けとかそ ういったところ整理できてないというところもあったので、
2:37:18	別整理としてこんなことやってました。今もともと予定していた補足資 料ですね、それで十分なのかといったところに対して、
2:37:28	これまでのアプローチからいいとちょっと違う視点で、許可に振りも立 ち返ってですね、本当に設工認として記載しなきゃ、追加で出さなきゃ いけない補足ないのかと。

2:37:39	そういったところを今洗い出し作業している、います。そのちょっと途中経過の作業資料を今見ていただいています。
2:37:48	こういった形ですね代表条文はもちろんですけども、他の、これから審査入っていくであろう他のサポート条文、代表条文以外のものについてもですね同様の整理進めておまして、
2:38:03	これを、まだ、どんなもの素材が必要かといったところを、まだ抽出しているだけでこれをですね、どういうふうに組み立てて、
2:38:13	説明の流れの1 ポチ 2-1、2-2 という流れに沿ってどういう順番で出していくのがいいのかと。
2:38:19	そういったところまではまだちょっと整理できてないんですが、弾を込めていかなきゃいけないといったところで検討を進めていたところがございます。以上です。
2:38:31	はい、古作です。
2:38:34	それがですね、我々としてもう話を聞いて、準備進められてるねということ踏まえて、順次やっていくっていうふうにしないと、また蓋開けたらいいや。
2:38:49	面白いってそういうことだったんで、こういうものも必要じゃないかって、

2:38:53	あと阿藤澤井でもしょうがないなという気がしてまして、
2:38:59	その辺り大枠の、
2:39:02	の準備状況というところでのヒアリングをしていったらいいんじゃないかなというふうに思ってます。で、なので1ポツという、
2:39:13	中でもう、
2:39:17	ここに書いてあるのも評価、2-2とかっていうようなところの話とかも多分に入っているんですけど、
2:39:25	その2-2自体も1ポツから出てくる内容なので、1ポツの項目っていうところをとらえながらそれについて
2:39:37	2-1、2-2について説明をしていくつもりです。準備としてこういうものを準備してってますと。
2:39:44	ということの話を、
2:39:46	していただければなと思ってます。で、その際に、本来はその別紙3別紙5というところになるんですけど、そこは随時、回数、
2:39:57	予定をしていた。
2:39:59	いただきながら、話をし、起こしていただいてトータル、

2:40:05	それでヒアリングをした結果反映もしながら、別紙3別紙5をブラッシュアップして行って、最終的に漏れがないかというチェックに別紙3別紙5が使えればなというふうに思ってます。
2:40:18	よろしいですかね。
2:40:20	はい。日本原燃の瀬川承知いたしました。
2:40:26	はい、古作ですってということなので、そういったその大枠のヒアリング、準備状況としてのヒアリングっていうようなところになりますけど、それをどう進めるのかっていうのを、また説明いただければと思いますので、
2:40:40	そ、
2:40:43	議事実情今見せていただいているように、いろいろと検討されているようですから、キンキンにそこら辺のヒアリングのセッティングをしていたいただければと思います。
2:40:57	はい、承知いたしました。
2:41:03	あ、コサクですタカハシさんよろしいですか。はい。高橋です。はい。理解いたしました。
2:41:20	ほかに、質問、規制庁側から連絡事項等ございますでしょうか。
2:41:32	また原燃側から連絡事項等ございますでしょうか。

2:41:41	日本原燃、ございません。はい、ありがとうございます。
2:41:46	ないようでしたらこれでヒアリングを終わろうと思いますが、よろしい でしょうか。
2:42:01	それでは録音てしたいと思います。
2:47:55	やりくりの関係で別紙 4 のところ、